

みのかも文化の森 年報 平成17年度



## 目 次

常設展示 .....	1
常設展示室・生活体験館（まゆの家）・民具展示館	
企画展 .....	4
特別展示 .....	9
文化の森5周年記念事業 .....	10
市民参画 .....	13
みのかも文化の森ボランティア .....	17
教育普及 .....	23
虫害対策 .....	28
学校活用の理念と現状 .....	28
教育センター .....	34
施設の利用状況 .....	37
来館者アンケート .....	38
広報活動の記録 .....	40
組織図 .....	46
利用案内 .....	46



「文化の森 ミュージアムニュース vol.27～vol.32」

## めざそうとしているもの

みのかも文化の森は、2000年10月にオープンし、まもなく6年がたとうとしています。今、改めてこの施設がどんなことをめざして設置されたかを考えてみたいと思います。次の4つです。

### ①自然との共存

「みのかも文化の森」には、9ヘクタールの敷地に里山としての豊かな森があります。この森と、その「たたずまい」を、子どもも大人も「体感」できる場でありたいと願っています。人が自然から学ぶことの大事さ、得られるものの大きさをあらためて考えてみたいと思います。

### ②学校教育との連携

「みのかも文化の森」は自然の中に立地し、地域の文化的、歴史的資料が収集展示されている施設です。そのような素材や条件を生かし、様々な体験学習や深まりのある学習が可能となります。モノからそして人から学んだ子どもたちが、将来文化を支える人々になることを願っています。

### ③市民参画

「みのかも文化の森」では、ボランティアのみなさんをはじめとして多くの市民の方々が森の活動を支えます。館の事業への協力や参加にとどまらず、自由な発想と自発的な気持ちで活動に参加する、そんな協働しておこなう新しい取り組みや企画は館の新しい力となって次へつながっていきます。

### ④地域づくり

「みのかも文化の森」は、いわゆる「博物館」や「教育・文化」といった限られた枠にとらわれず、ふだんの生活の一部として利用され、地域の様々な人々の交流の場となることをめざしています。活動をとおして「文化力」を徐々に蓄積し、社会的存在として地域の中で機能していかなければならないと思います。

20年近い長い準備期間のなかで、設立までに煮詰められたこの理念は、今も基本的に変わることはありません。日常の業務のなかでなんとなくではありますが、こんなことをいつも意識しながら活動をすすめていかなければ、と思っています。

施設の業務評価というものは、この設立理念にどれだけ近づけているかが第1のポイントだと考えています。次の5年そして10年20年先の姿はどうあるべきか、設立理念を基本に社会の状況を見極めて中長期計画を立て、達成すべき具体的指標を立てて取り組んでいきたいと思っています。

## ◆常設展示

### 常設展示室

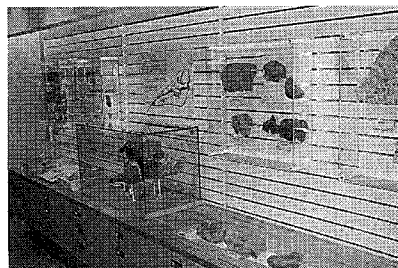
美濃加茂市は、木曾川・飛騨川の合流点に位置しており、その気候や風土、人々の生活などに「川」の存在が大きく影響していたといえます。

そこで常設展示では、この地域の自然、歴史そして文化について「川とみちと人」をメインテーマに分かりやすく展示しています。さらに、美濃加茂市で生まれた坪内逍遙や津田左右吉等の業績や人柄を紹介しています。

#### 【川と大地】

地層や岩石の調査から、当地がまだ海底だった時代、火山活動の活発な時代、盆地と湖の時代など約2億年の歴史をもつ大地の形成の様子を知ることができます。

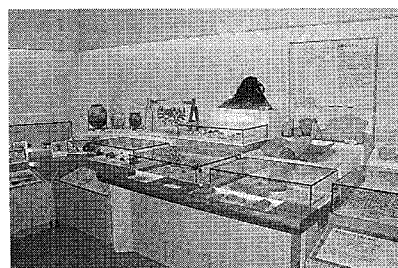
また、1,900万年前に生息していたサイヤゾウ、ビーバーなどの哺乳動物や淡水魚、化石林などの植物化石に加え映像資料で当時の様子を復元しています。



#### 【川と文化】

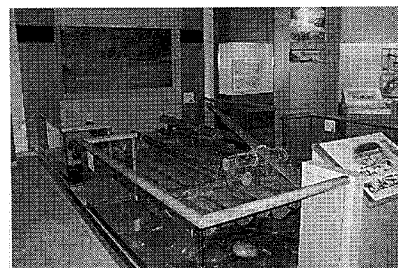
美濃加茂市の遺跡から出土したものを中心に展示しています。旧石器時代から縄文、弥生、古墳時代に暮らした人々、その生活の一端に注目しました。

展示品には、この地方の弥生時代末～古墳時代初頭の代表的な墓群である為岡遺跡の方形周溝墓に供えられた赤彩の土器や近年大規模に発掘調査された野笹遺跡の壺棺をはじめとする資料があります。



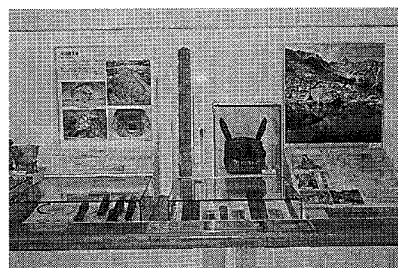
#### 【川と道】

江戸時代はじめ、五街道の一つとして中山道が整備され、美濃には十六の宿場が置かれました。太田宿は、中山道の難所・太田の渡しを控えた重要な宿場として栄えました。また、昭和初期にダムが建設されるまでは、イカダ流しが続けられていました。展示室では、イカダを復元製作し、見学者がカジを動かすと実際の木曾川を川下りしていく雰囲気を見ることができます。



#### 【祈りの世界】

市内の遺跡からは、各時代の人々の「こころ」がこめられたものが出土しています。縄文時代の石棒や土偶、人々を飾った耳環や勾玉、埋葬品として鳥形木製品などの「いのり」を目に見える形にあらわした物が展示してあります。



### 【群像美濃加茂】

ここでは、美濃加茂市の文化の発展において貢献した人物を紹介しています。明治～昭和の近代日本文学界や演劇において先駆的、革新的な役割を果たした坪内逍遙や、日本の歴史について実証的、科学的な研究方法をした津田左右吉等の業績や愛用していた遺品、二人の交流などを示した資料が展示されています。また、その他の先人についても紹介されています。



### 【資料紹介展示】

#### ◇佐野えんね紹介展

と き 2005（平成17）年5月31日（火）～7月31日（日）

と ころ 常設展示室・展示ホール（展示ホールは6月21日まで）

展示資料 遺品や写真パネルなど約80点

内 容 昭和20年に疎開し、その後美濃加茂市において日本とドイツの良さを語りついできた佐野えんねさん（1901～1995）の没後10周年にあたり、地域の人々に愛され、親しまれたその人となりや写真パネルや著作物、遺品を展示しながら紹介しました。今回の展示会では、えんねさんが美濃加茂で暮らした半世紀を中心に、今も私たちの心に残るすてきなえんねさんの姿をふりかえる展覧会となりました。



#### ○関連事業

ミュージアムフォーラム「母・えんねを語る」

と き 2005（平成17）年6月12日（日）14:00～15:00

と ころ 緑のホール

講 師 佐野綾目氏

入 場 者 231名

入 場 料 無料

内 容 佐野えんねさんの次女・綾目さんから見た母えんねさんについての講演会。

日本人の女性として生きたその一生についての生きざまやその思いについて、一緒に暮らした娘の立場でエピソードを交えてのお話をされました。



えんねさんの暮らしぶりをおして日本の暮らしの良さが再発見できました。

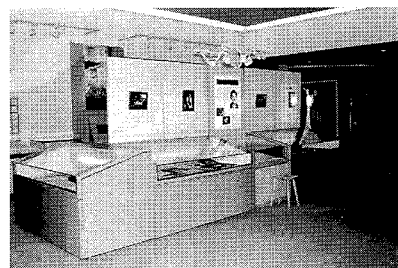
### ◇第3回坪内逍遙大賞受賞者 加藤道子資料紹介

と き 2005(平成17)年11月1日(火)～2006(平成18)年1月22日(日)

と ころ 常設展示室

展示点数 遺品など65点

内 容 平成16年度から随時、加藤家から加藤道子さんと父精一さんの資料を寄付して頂きました。道子さんの資料にはラジオドラマ草創期からの貴重な資料や「日曜名作座」の台本が多数あり、これら資料を紹介するために開催しました。また、父精一さんと坪内逍遙に関する資料なども同時に展示しました。



#### 【新収蔵品展】

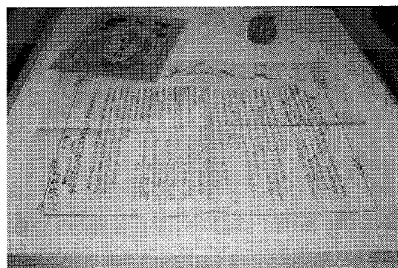
### ◇蜂屋柿関連資料

と き 2006(平成18)年1月31日(火)～

と ころ 常設展示室

展示資料 『明衡消息』『岐蕪路記』『蜂屋柿販売ラベル』

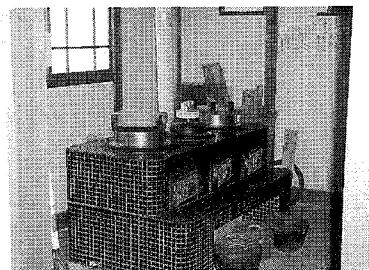
内 容 平成17年度に新しく購入した蜂屋柿関連の資料を紹介する展示です。どの資料も蜂屋柿の歴史を示す貴重なものです。



### 生活体験館(まゆの家)

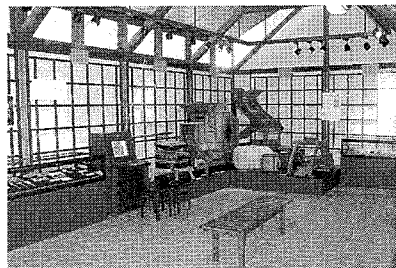
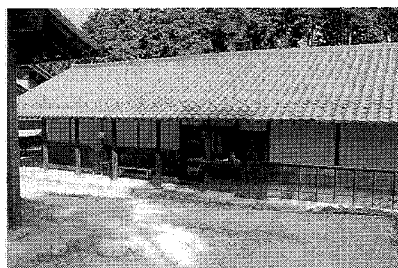
美濃加茂市内の養蚕民家を復元した「生活体験館」通称「まゆの家」。建物の随所に養蚕業と密接に結びついた生活の様子をみることができます。

生活体験館や付属施設の「体験工房」では、来館者の見学の他、学校の学習活動や「くらし体験講座」また、クドを使った「四季を食べる講座」などさまざまな活動を行いました。



### 民具展示館

昭和時代、一般的に使用していた民具(養蚕や蜂屋柿農耕及び畑作)を展示。パソコン検索「昔の道具の使い方」は、収集された民具をわかりやすく解説します。





## ◆企画展

### 「土に残る記憶Ⅲ - 弥生と古墳 -」展

#### (1) 趣 旨

現代のわたしたちは、土に残された遺跡から、過去の時代を捉え、復元していくことができます。近年、弥生時代については、はじまりの年代や「都市」と呼べるようなものがあったのかなど、新たに発見された資料をもとにした議論が活発です。

今回の企画展では、当時の人々がどのように暮らしていたかについて考古学者が導き出した姿を紹介しました。

また、後に続く古墳時代の出土品についても、岐阜県で発見された貴重な資料を併せて展示しました。

(2) 会 期 2005 (平成17年) 4月29日(祝)～6月12日(日) <38日間>

(3) 観 覧 料 一般200円 (100円)、中学生以下無料

( ) は20名以上の団体料金及び、かるちすとくらぶ料金

(4) 会 場 企画展示室

(5) 関連事業

#### ①体験講座1 「つかってみよう-弥生人体験-」

簡単な石のナイフ作りや火起こし、弥生人の着付け体験を行いました。

(2005 (平成17) 年 5月5日 (祝) 13:00～16:00 / 会場：文化の森周辺 / 参加料：無料)

#### ②体験講座2 「つくってみよう-石の矢じり-」

出土品とそっくりなものを目指して下呂石による石器作りを行いました。

(2005 (平成17) 年 5月21日 (土) 13:00～15:00 / 会場：工芸室 / 参加料：無料)

#### ③ミュージアムフォーラム「古代人のココロを探る-認知考古学からの新たなアプローチ-」

認知科学を考古学に取り入れた研究手法により、人間の心と行動、そこから創りだされたモノとの関係性に着目することは、有効なアプローチとなりうることを研究事例などを元に提言、紹介されました。

(2005 (平成17) 年 5月15日 (日) 13:30～15:30 / 会場：緑のホール / 参加料：無料 / 講師：岡山大学 松本直子氏)

#### ④アートな1日講座「弥生の音色-土笛づくり-」

弥生時代の楽器を作りました。

(2005 (平成17) 年 5月22日 (日) 13:00～16:00 / 会場：陶芸室 / 参加料：500円)

#### ⑤ミュージアムトーク

当館学芸員が展示解説を行いました。

(2005 (平成17) 年 4月30日 (土)・5月8日 (日) 11:00～12:00・14:00～15:00 / 会場：企画展示室 / 参加料：企画展観覧料)



## 今森光彦「里山物語」展

### (1) 趣 旨

里山の暮らしには、物質的・経済的ゆたかさをもとめてきた今日の暮らしと違い、自然と調和していた昔ながらの日本の暮らしや考え方を見ることができます。社会が成熟し成長が鈍りつつある今、「見失ってしまった大切なもの」や「ゆたかさの本質」が問われています。この展示によってそれらについて私たちが考えるきっかけになりました。

(2) 会 期 2005(平成17)年7月2日(土)  
～9月4日(日) <54日間>

(3) 観 覧 料 一般300円(150円)、中学生以下無料  
( )は20名以上の団体料金及び、かるちすとくらぶ料金

(4) 会 場 企画展示室／美術工芸展示室

### (5) 関連事業

#### ①ミュージアムトーク 今森光彦「里山物語」展 解説

今森光彦氏本人による展示の解説をおこないました。

(2005(平成17)年7月10日(日)11:00～12:00／会場：企画展示室・美術工芸展示室／  
参加料：企画展観覧料)

#### ②ミュージアムフォーラム「のこってほしいもの・のこしたいもの 里山」

今森光彦氏による講演会をおこないました。

(2005(平成17)年7月10日(日)13:30～15:30／会場：緑のホール／入場料：500円)



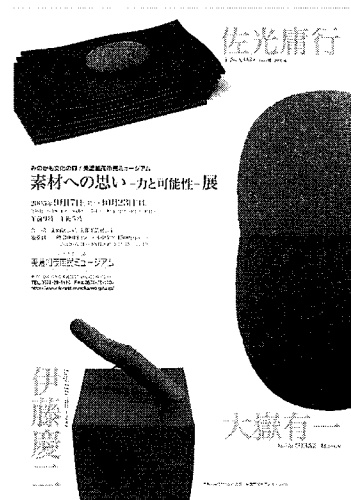
## 素材への思い-力と可能性-展

### (1) 趣 旨

美濃加茂市民ミュージアムでは、開館以来、「この地ゆかりの作家たち」「芸術と自然」という2つのテーマのもとに、作家たちの活躍を広く紹介してきました。

本展は、石の魅力にひかれて、数多くの石彫作品を多く残した佐光庸行（1941～1995）と、素材に向き合い、かたちの追求に時を費やす、土の伊藤慶二（1935～）を、鉄の大嶽有一（1949～）を紹介しました。

素材の可能性を信じて生まれた三人の作品とそれぞれの作家の世界をより深く理解する機会になったことと思います。



(2) 会 期 2005（平成17）年9月17日（土）～10月23日（日）＜31日間＞

(3) 観 覧 料 一般300円（150円）、小中学生150円（100円）

（ ）は20名以上の団体料金及び、かるちすとくらぶ料金

(4) 会 場 企画展示室／美術工芸展示室

(5) 関連事業

#### ①ミュージアムフォーラム 佐光庸行の仕事-作品と人を語る

佐光庸行の彫刻家としての仕事と人柄について、スライドによる作品紹介を交えつつお話しいただきました。

（2005（平成17）年10月2日（日）14:00～15:30／会場：緑のホール／参加料：無料／講師：糸魚川淳二氏）

#### ②ワークショップ 土とたわむれる

土と遊ぶ中で偶然できるかたちを生かしながら、創作の手を加えて作品にしました。

（2005（平成17）年9月23日（金）13:00～16:00／会場：工芸室／参加料：500円／講師：伊藤慶二氏、大嶽有一氏）

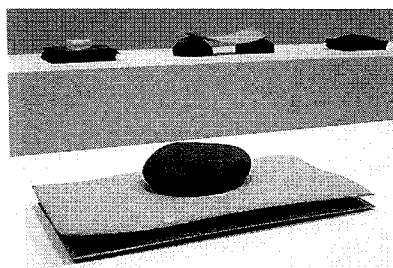
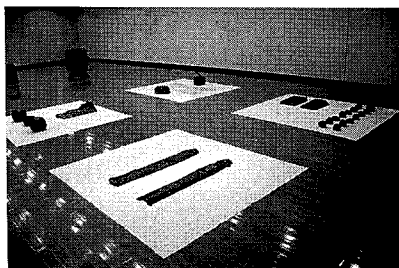
#### ③ミュージアムトーク 素材への思い-力と可能性-展 作品鑑賞会

当館学芸員が展示室を案内しました。

（2005（平成17）年9月18日（日）・10月8日（土）11:00～12:00・14:00～15:00／会場：企画展示室・美術工芸展示室／参加料：企画展観覧料）

### (6) 図録

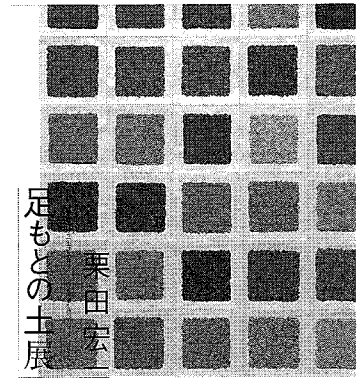
素材への思い-力と可能性-展 A4判 16頁 500円



## 栗田宏一 足もとの土 展

### (1) 趣 旨

栗田宏一（1962～）は、各地で採集した色々な土の展示を続ける美術家です。本展は、作家が美濃加茂市民ミュージアムのアトリエに滞在しながら採集した東海地方の土を中心に養蚕民家を復元した生活体験館「まゆの家」に展示しました。あわせて、「みんなで持ちよる1000色の土」として、ワークショップ参加者、学習に来た子どもたち、ボランティアらが各地で集めた土を展示しました。また、作家からの提案により、美濃加茂市民ミュージアムの収蔵品を自ら選び展示する「見すごしていたもの」展を同時開催しました。歴史、民俗、自然、美術を対象とする当館の特徴を生かし、資料的な分類を超えた「もの」に在る美しさや面白さを引き出しました。作家の土に込めた想いに触れ、わたしたちの足もと宿る自然やその場所に刻まれてきた歴史を見つめ直すきっかけとなりました。



2005年12月20日(火)～2006年1月29日(日)  
SOIL LIBRARY PROJECT [TOKAI] / 生活体験館  
みんなで持ちよる1000色の土 / 美術工芸展示室  
見すごしていたもの - 化石からワラジまで / 企画展示室

(2) 会 期 2005(平成17)年12月20日(火)～2006(平成18)年1月29日(日)〈27日間〉

(3) 観覧料 無料

(4) 会 場 「足もとの土」展 SOIL LIBRARY PROJECT [TOKAI] / 生活体験館  
みんなで持ちよる1000色の土 / 美術工芸展示室  
見すごしていたもの - 化石からワラジまで / 企画展示室

### (5) 関連事業

#### ①アートな1日講座「土のかお一色・いろいろ」

参加者の持ちよった土を観察した後、みのかも文化の森周辺を散策して土を集めました。乾燥させた土は、ふるいにかけてみました。

(2005(平成17)年7月24日(日) 13:00～16:00 / 会場：エントランスホール・文化の森  
周辺 / 参加料：100円)

#### ②オープンスタジオ&ワークショップ「土の色、いろいろ」

参加者の持ちよった土を観察した後、みのかも文化の森の敷地内を散策して土を集めました。作家の滞在制作の様子（アトリエ）も見学しました。

(2005(平成17)年10月16日(日) 10:00～16:00 / 会場：エントランスホール・文化の森  
周辺 / 参加料：100円)

#### ③アーティスト・トーク「足もとの土」

美術家・栗田宏一さんに作品やその活動についてお話いただきました。

(2006(平成18)年1月29日(日) 13:30～14:30 / 会場：生活体験館 / 参加料：無料)

#### ④アートな1日講座 ミュージアム・ツアー「見すごしていたもの」

「見すごしていたもの」展にちなみ、作家自ら文化の森の収蔵庫などを案内し、アーティストの目線から見た博物館の面白さを追体験しました。

(2006(平成18)年1月29日(日) 15:00～16:00 / 会場：企画展示室・収蔵庫 /  
参加料：無料)

## 廻国・円空－加茂をとおりて－展

### (1) 趣 旨

円空は、寛永9年(1632)年、美濃国で生まれ、十二万體造像を祈願し、全国を遊行しながら多くの仏像を制作しました。元禄8年(1695)年、住職を務めていた弥勒寺(関市)の近くの長良川河畔で没するまでその歩みをとめることはなかったと伝えられています。

飛騨街道をはじめ、各方面からの主要な街道が交錯する加茂地域は、かつて円空が何度も行き来した場所でした。そのため、この地域には多くの円空仏が所在し、現在も信仰の対象として祀られています。

本展では、加茂地域(美濃加茂市・加茂郡)に所在する円空仏や円空自筆の和歌集を展示するとともに、いまなお伝えられる「円空さん」の伝承やゆかりの地を紹介しました。

(2) 会 期 2006(平成18)年2月4日(土)～3月21日(火) <38日間>

(3) 観 覧 料 一般200円(100円)、中学生以下無料

( )は20名以上の団体料金及び、かるちすとくらぶ料金

(4) 会 場 企画展示室/美術工芸展示室

### (5) 関連事業

#### ①ミュージアムフォーラム 円空の生涯からみた加茂地域

円空と加茂地域についてお話をいただきました。

(2006(平成18)年2月26日(日) 13:30～15:30/会場:緑のホール/聴講料:無料

講師:長谷川公茂氏(円空学会理事長)

#### ②ミュージアムイベント 円空ゆかりの地めぐり

美濃加茂市内にある円空ゆかりの地をめぐりました。

(2006(平成18)年3月12日(日) 13:00～15:00/会場:観音洞円空窟(三和町廿屋)・

北薬師堂(蜂屋町広橋)/参加料:無料)

#### ③ミュージアムトーク 廻国・円空－加茂をとおりて－展 展示解説

1. (2006(平成18)年2月26日(日) 11:00～12:00/会場:企画展示室・美術工芸展示室/参加料:企画展観覧料/解説:長谷川公茂氏(円空学会理事長))

2. (2006(平成18)年3月19日(日) ①11:00～12:00 ②14:00～15:00/会場:企画展示室・美術工芸展示室/参加料:企画展観覧料/解説:当館学芸員)

### (6) 冊子

ふるさとファイルNO.12「みのかもの円空仏 改定版」

A5判 14頁 200円



## ◆特別展示

平成17年度中に開催した展覧会の中で、企画展以外の展示を紹介いたします。

### 地域ゆかりの作家 小林文一 展

#### (1) 趣 旨

小林文一氏は、日展を舞台に数々の独創的な作品を制作しています。1975(昭和50)年の日展において特選を受賞し1956(昭和31)年の日展初入選以降、入賞入選は35回を数えます。

また、長年にわたり多くの後進の指導に力を入れるなど、美濃の陶芸界を支える重要な役割を果たし続けています。

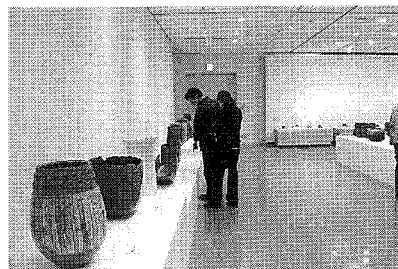
この展覧会では、小林文一氏の作陶活動50年間に亘る集大成の数々を展示いたしました。

(2) 会 期 2005(平成17)年3月26日(土)～4月10日(日)<14日間>

(3) 観 覧 料 無料

(4) 会 場 企画展示室

(5) 展示点数 56点



### 蚕とまゆ展05

#### (1) 趣 旨

この地域は古くより養蚕が盛んでした。本展では、養蚕の様子を再現しながら、道具の使われかたや蚕の育成、養蚕を営む人々の生活を紹介しました。

また、5月下旬～6月上旬に生活体験ボランティアの活動のひとつとしてカイコを飼育し、来館者に養蚕への理解を深めてもらうことができました。

(2) 会 期 2005(平成17)年5月25日(水)～7月31日(日)<68日間>

(3) 観 覧 料 無料

(4) 会 場 生活体験館(まゆの家)・民具展示館

(5) 展示点数 60点

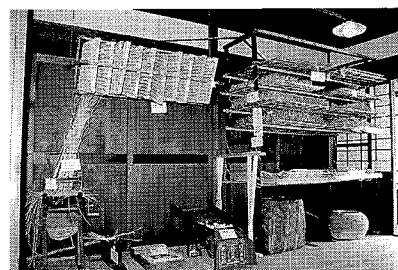
(6) 関連講座

#### ①くらし体験講座「まゆから糸をとる」

玉まゆをつかって真綿をつくったり、足踏み座繰器で糸をとる体験をしました。

(2005(平成17)年7月9日(土)13:30～15:30/会場：生活体験館(まゆの家)/

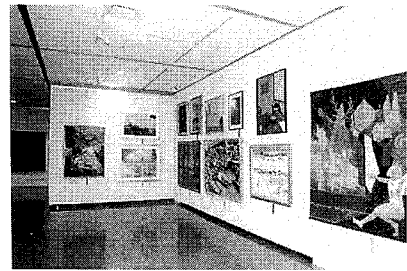
参加料：200円)



## 第50回 美濃加茂市美術展

### (1) 趣 旨

美術との身近なふれあいの場として、文化の発展のために市内外から広く作品を公募し、一般に公開することを目的としています。



(2) 会 期 2005(平成17)年11月19日(土)

～11月27日(日)〈7日間〉

(3) 観 覧 料 無料

(4) 会 場 企画展示室・美術工芸展示室・エントランスホール・展示ホール

(5) 応募点数 289点(日本画、洋画、彫刻・彫塑・工芸、書、写真の5部門)

## 暮ラシカル道具展06

### (1) 趣 旨

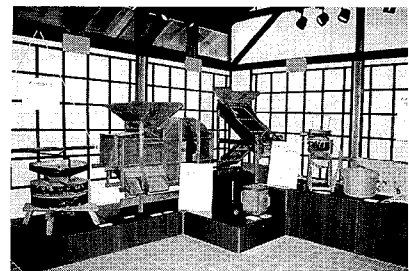
今回は「米づくり」をテーマにさまざまな道具を紹介しました。かつての暮らしのなかで使われていた道具をとおして当時の生活をふりかえり道具を使う上での工夫や人々が培った知恵、生活の苦勞を知る機会となりました。

(2) 会 期 2006(平成18)年1月17日(火)～2月19日(日)〈29日間〉

(3) 観 覧 料 無料

(4) 会 場 民具展示館

(5) 展示点数 約20点



### 関連講座

#### ①「お米ができるまで」

トウミヤマンゴクを使って、モミスリ体験をしました。

(2006(平成18)年1月21日(日) 13:30～15:00／

会場：生活体験館(前庭)／参加料：無料)

## ◆文化の森5周年記念事業

みのかも文化の森も10月で5周年になります。その記念として、いくつかのイベントを開催しました。

### □ミュージアムフォーラム「ナツカシイのキオク箱－師勝町“昭和日常博物館”の試み－」

と き 2005(平成17)年7月18日(祝・月) 14:00～16:00

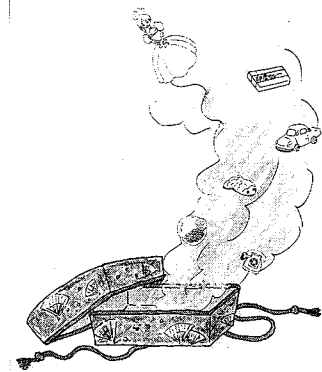
会 場 研修室

参 加 者 30名

講 師 市橋芳則氏(愛知県・師勝町歴史民俗資料館)

内 容 昭和時代をテーマに人々の身近な生活を展示・保存している師勝町歴史民俗資料館の取り組みについて講演いただきました。昭和の生活資料の展示は、今生きている人の経験やキオクであり、このような展示で来場者のうち特に高齢者のみなさんに笑顔が見られたことから、平成11年の企画展から高齢者ケアの取り組みが進められるようになりました。資料館の収蔵資料をキット化し、福祉関係者と連携しながら、「回想法」という手法を提案し効果をあげている様子をお話いただきました。

※ 師勝町歴史民俗資料館は、平成 18 年 3 月 20 日から北名古屋市歴史民俗資料館に名称が変更になりました。



### □ジャズコンサート

と き 2005 (平成17) 年 9 月 10 日 (土) 19:00~20:00  
 会 場 エントランスホール  
 入 場 者 170名  
 出 演 白崎彩子 (piano) / 井上陽介 (bass) / 高橋信之介 (drum)



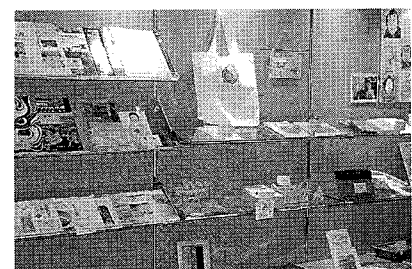
### □ミュージアムイベント「チャレランとそと遊びの一日」

と き 2005 (平成17) 年 10 月 1 日 (土)  
 ○外 遊 び 10:00~15:00  
 ○チャレラン 13:00~15:00  
 会 場 文化の森内  
 参 加 者 70名  
 協 力 市子ども会育成連絡協議会  
 ジュニアリーダーズクラブ  
 内 容 文化の森を遊び場にしたらどんなことができるか、子どもたちと一日一緒に遊びました。



### □ミュージアムショップ5周年「ライカンシャカンシャウィーク」

期 間 2005 (平成17) 年 10 月 1 日 (土)~7日 (金)  
 会 場 ミュージアムショップ  
 内 容 期間中、ミュージアムグッズを500円以上ご購入いただきましたお客様に、伝承料理の会からのオイシイプレゼントと、企画展入場券を進呈しました。





□ミュージアムフォーラム「佐光庸行の仕事 作品と人を語る」

と き 2005(平成17)年10月2日(日) 14:00~15:30

会 場 緑のホール

参加者 44名

講師 糸魚川淳二氏(半原版画館)

内 容 佐光庸行の彫刻家としての仕事と人柄について  
スライドによる作品紹介を交えつつお話いただきました。



□ミュージアムフォーラム「若き日の坪内逍遙」

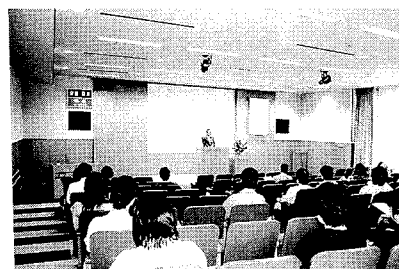
と き 2005(平成17)年10月9日(日) 14:00~15:30

会 場 緑のホール

参加者 60名

講師 林 和利氏(名古屋女子大学教授)

内 容 坪内逍遙が美濃加茂市から転居し、10歳から17  
歳まで過ごした名古屋と、彼の文学的要素について講演いただきました。



□シェイクスピア劇「ベニスの商人」

と き 2005(平成17)年10月9日(日) 18:00~

会 場 エントランスホール

入 場 者 160名

入 場 料 大人200円 小中学生無料

出 演 劇団 近代座

内 容 演劇「ベニスの商人」は、逍遙の業績を紹介するとともに、演劇を一般市民に普及することを目的に行いました。今回の上演では小学校の児童3名に参加して頂き、とても盛り上がった内容になりました。



□博学連携フォーラムー「はくぶつかん」での学び

と き 2005(平成17)年10月12日(水)

会 場 工芸室、緑のホール、化石林公園

◇ 8:40~12:20 公開授業

理科「大地のつくり」

美濃加茂市立蜂屋小学校6年生

◇13:00~15:00 基調講演

「博物館と学校の連携のあり方」

講師 木下康彦氏(中部学院大学教授)

◇15:30~16:30 文化の森活用委員会

参加者 65名



内 容 開館から5年間で築いてきた「はくぶつかん」での学びを振り返り、今現在私たちの目の前にいる変化し続ける子ども達に何をどう学ばせたらよいのかをもう一度考え直す機会として設けました。博物館と学校教育との関係、博物館の役割について検討するよい機会となりました。

#### □文化の森5周年記念対談「加藤道子を語る」

と き 2005(平成17)年11月12日(土)14:00～

会 場 緑のホール

参加者 60名

出 演 加藤孝子氏(加藤道子の義妹)  
渡辺俊幸(市教育長)



内 容 第3回坪内逍遙大賞受賞者・加藤道子さんの義妹・孝子さんと美濃加茂市教育長渡辺俊幸による対談形式の講演会。女優として生きたその一生について、一緒に暮らした義妹の立場でエピソードを交えての対談でした。道子さんの魅力が再発見できました。

### ◆市民参画

みのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアムは、その理念に「市民参加を中心に考える」を挙げています。ここでは、「市民が主人公となり、自由な発想と自発的な活動」で計画・実施された催しを紹介します。

#### (1) 森のコンサート

##### ①春のコンサート(フォルクローレ)

と き 2005(平成17)年4月29日(祝)14:00～15:00

と ころ エントランスホール

入 場 者 150名

入 場 料 無料

出 演 者 名古屋大学フォルクローレ同好会

内 容 フォルクローレコンサートも今年で4回目となり毎回楽しみにしている方もあり、フォルクローレファンが沢山になりました。



##### ②サマーナイトコンサート(ジャズ)

と き 2006(平成17)年7月30日(土)19:00～20:00

と ころ エントランスホール

入 場 者 180名

入 場 料 無料



出演者 パンバニーシャ デュオ

鈴木よしまさ (ギター)・岡田治郎 (ベース)

内容 暑い季節の夜を、ジャズの音色で楽しんでいただきました。「こんないい音楽を聴けて昼間の疲れがとれました。」「なかなか生の演奏を聴く機会がないので大変よかったです。」などの感想をいただきました。

### ③クリスマスコンサート (サククス・アンサンブル)

とき 2005 (平成17) 年12月18日 (日) 19:00~20:00

ところ エントランスホール

入場者 46名

入場料 無料

出演者 かゆかわ なつき&Mini Monkeys

内容 今回は、サククスによるコンサートを行いました。

開場前から大雪となりましたが、雪の中を遠方より来館された方もあり、クラシックからポップス、ジャズまで幅広い演奏を楽しんでいただきました。



### ④バレンタインコンサート (シャンソン)

とき 2006 (平成18) 年2月4日 (土) 14:00~15:00

ところ エントランスホール

入場者 180名

入場料 無料

出演者 林 千衣子 (シャンソン歌手)・岩波 延子 (ピアニスト)

内容 エントランスに響きわたるシャンソンの歌声に「休日の午後、きれいなホールで素敵な歌声を聴いてとても幸せな気分になりました。」「目をつぶって聴いていると風景が浮かんできてとても楽しい、ひと時の空間をいただきありがとうございます。また、こんな機会がありましたら喜んでこさせていただきます。」など感想をいただきました。



## (2) 春・朗読の一日

とき 2005 (平成17) 年5月8日 (日)

10:00~ 朗読

16:00~ 俳優 田中幸子氏による朗読と交流会

(三浦哲郎作「忍ぶ川」)

ところ 緑のホール・エントランスホール

来場者 600名

内容 みのかも文化の森に、朗読を楽しむ仲間が集い、小説エッセイ・詩・童話などを、思い思いのスタイルで朗読しました。



### (3) アートボランティア ビデオ上映会

と き 2005 (平成17) 年6月19日 (日)

と ころ 緑のホール ①10:00～ ②11:00～ ③13:00～

入 場 者 54名

入 場 料 無料

内 容 印象派の画家モネのビデオを上映しました。



### (4) ビデオ上映会 第5回ゴールデンアート劇場

と き 2005 (平成17) 年11月20日 (日)

と ころ 緑のホール

入 場 者 60名

入 場 料 無料

内 容 「ジャン＝ピエール・レイノーの家1969 - 1993」

①10:00～10:30 ②11:00～11:30 ③13:00～13:30

④14:00～14:30

「世界・美の旅 セザンヌ ～12通の手紙～」

①10:30～11:00 ②11:30～12:00 ③13:30～14:00 ④14:30～15:00



### (5) 森の朗読会

内 容 みのかも「声のドラマ」の会のメンバーによる朗読会が、11月を除く毎月第3土曜日の午後行なわれました。出演は会所属のグループで、童話・エッセイ・小説などを題材に、思い思いの朗読を上演しました。

2005 (平成17) 年4月16日 (土) 「平家物語」・「絵巻平家物語」ほか

2005 (平成17) 年5月21日 (土) 「飛鳥山」・「みみをすます」ほか

2005 (平成17) 年6月18日 (土) 「蟹婆」・「木を植えた男」ほか

2005 (平成17) 年7月16日 (土) 「おっちゃんの長い夏休み」・「幸恵」ほか

2005 (平成17) 年8月20日 (土) 「残り火」・「二ひきのかえる」ほか

2005 (平成17) 年9月17日 (土) 「鼻」・「フランクザッパ・ストリート」ほか

2005 (平成17) 年10月15日 (土) 「スイート・ラバース」

・「山古志村のマリと三匹の子犬」ほか

2005 (平成17) 年12月17日 (土) 「モチモチの木」・「発車オーライ」ほか

2006 (平成18) 年1月21日 (土) 「ショート・トリップ」・「きいちゃん」ほか

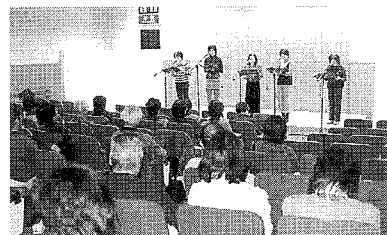
2006 (平成18) 年2月18日 (土) 「おじいさんは山へ金儲けに」・「かちかち山」ほか

2006 (平成18) 年3月18日 (土) 「ママ・ドント・クライ」・「素晴らしい日曜日」ほか

と ころ 緑のホール

時 間 14:00～15:00

入 場 料 無料



## (6) 第6回まゆの家まつり

と き 2005(平成17)年10月29日(土)、30日(日) 各日10:00~15:00

と ころ 生活体験館

主 催 まゆの家まつり実行委員会

(生活体験ボランティア、伝承料理の会、学習支援ボランティア)

参加料 無料

内 容 まゆの家まつりは、本年6回目を迎えました。

文化の森ボランティアのみなさんによる、ちょっと昔のくらしをみる、あそぶ、たべるを体験して楽しくすごしました。



## (7) 第9回 朗読フェスティバル

と き 2005(平成17)年12月3日(土)、4日(日)

日にち	時間	発表・公演	入場料
12月3日(土)	13:00~18:40	声のドラマ2005受講生	無料
	19:00~20:00	講師(戸村美智子氏・岡掇子氏)公演	1,000円
12月4日(日)	10:00~16:20	声のドラマ2005受講生	無料
	16:30~17:30	講師(戸村美智子氏・岡掇子氏)公演	1,000円

(講師：放送表現教育センター)

と ころ 緑のホール

出演など 出演130名 来場者延べ700名

内 容 第3回(平成8年度)坪内逍遙大賞受賞者、加藤道子氏の朗読を機に、みのかも「声のドラマ」の会が発足して美濃加茂を朗読のまちにと活動し、朗読講座を行っています。受講生の学んだ成果の発表の場として朗読フェスティバルを実施し、あわせて、指導していただいた講師による朗読も行われました。



## (8) フリーマーケット

と き 2005(平成17)年10月30日(日) 10:00~15:00

と ころ 実習棟テラス・工芸室

内 容 文化の森の講座から生まれたサークルやボランティアが、自分たちの作品の販売と体験制作(有料)を行ったり普段の活動の成果を観覧していただきました。

作 品 陶芸・つる細工・草木染め ほか

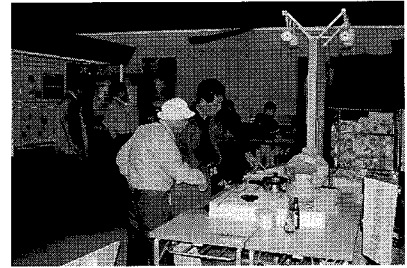


### (9) さわってみようーみのかもの宝物ー

と き 2005(平成17)年10月30日(日)10:00~15:00

と ころ 常設展示室

内 容 展示ガイドボランティアによって、博物館資料の展示や体験コーナーを開設しました。内容は、①弥生人の衣服(復元品)、着物(民俗資料)着装体験、②石器の使用体験(石包丁やスクレイパーの復元品)、③美濃加茂市内遺跡からの出土品(縄文~中世)と同じ用途の現代品との比較コーナー、④中山道太田宿が掲載された「道中記」と現代の観光ガイドブックとの比較コーナーでした。展示設営や解説パネル製作をはじめ、来場者への解説を行いました。



## ◆みのかも文化の森ボランティア

みのかも文化の森では、2000年10月のオープン当初から、多くの方がボランティア活動をしています。「文化の森で何かしたい」という思いを持ったボランティアの活動は、来館者と文化の森をつなぐ重要なパイプであり、文化の森の大きな特徴になっています。

### 1. 目的

- ①文化の森と来館者および地域の人々との橋渡しの役割を果たしてもらい、より親しまれる文化の森とするため。
- ②多様な経験や技術、柔軟な発想などを文化の森の事業や運営に生かし、利用者のサービスを充実していくため。
- ③市民の皆さんの自発的な学習の場と社会還元の場として文化の森を有効に利用してもらうため。

### 2. 各ボランティアの活動内容

- ・展示ガイド・・・主に、常設展示室内にて展示の解説などを行います。
- ・アート・・・文化の森の講座のお手伝いや自主企画のイベントを行います。
- ・生活体験・・・主に生活体験館(まゆの家)・民具展示館において、来場者への解説や、講座やイベントでの講師・お手伝いをします。
- ・学習支援・・・児童・生徒が文化の森で学習する際にお手伝いをします。
- ・伝承料理の会・・・生活体験館のクドを使い、「四季を食べる講座」でこの地域に伝わる料理を教えています。
- ・イベント・・・「森のコンサート」など文化の森でおこなうイベントを中心にお手伝いをします。

※基本的には、ボランティアの方々の都合の良い時に活動していただいています。

### 3. 資格

条件・・・18才以上ならどなたでも。経験・性別、美濃加茂市民か否かは問いません。

報酬・・・無償です。

特典・・・みのかも文化の森が主催する他館の視察や見学会に参加できます。

企画展等へ団体料金で入場ができます。

活動中、万一の事故に備え、市の負担でボランティア保険に加入いたします。

### 4. 世話人会と広報紙「つぶらじい」編集委員会

各分野の中で2人ずつ世話人を選出します。6つの分野の世話人と文化の森の職員とで世話人会を構成します。本会は必要に応じて文化の森が会を召集し、その時の議題について話し合います。

また、各分野から1名ずつ広報編集委員を選出し、広報紙「つぶらじい」を発行しています。

### 5. 研修

ボランティアとして活動するにあたり、必要な知識や経験を学んでいただくために研修会を行います。ボランティア登録したすべての方を対象とした全体研修と個々の分野の、より専門的な知識・経験を得るための個別研修があります。平成17年度中に開催した研修は下記の通りです。

#### (1) 全体研修

##### ①2005(平成17)年4月23日(土) 新規ボランティア説明会

文化の森のボランティア活動に関心のある方に、活動や研修について説明、質疑応答。

12名の方がボランティア登録。

##### ②2005(平成17)年5月6日(金)、8日(日) 企画展研修会

「土に残る記憶Ⅲ－弥生と古墳－」展の展示解説

##### ③2005(平成17)年7月3日(日) 第1回世話人会

平成17年度の世話人さんの顔合わせと一年間の活動内容の交流

##### ④2005(平成17)年7月5日(火)、10日(日) 企画展研修会

「のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦『里山物語』」展の展示解説

##### ⑤2005(平成17)年7月18日(月・祝) ミュージウムフォーラム研修

「ナツカシイのキオク箱 一師勝町“昭和日常博物館”の試みー」

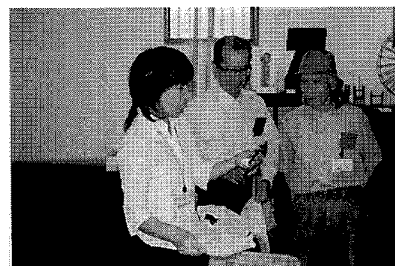
昭和時代をテーマに人々の身近な生活を展示・保存している師勝町歴史民俗資料館

(平成18年3月20日から北名古屋市歴史民俗資料館)の取り組みについての話を聞く。

##### ⑥2005(平成17)年9月18日(日)、10月4日(火) 企画展研修会

「素材への思いー力と可能性ー」展の展示解説

- ⑦2005(平成 17)年 9 月 21日(水) 5 周年記念事業準備  
5 周年記念事業「チャレランとそと遊びの一日」の事前準備を行う。
- ⑧2005(平成 17)年 9 月 22日(木) 他館見学研修会 静岡県天竜市：秋野不矩美術館  
明治時代に生まれた日本画家 秋野不矩（あきのふく）の作品を中心に展示する美術館を見学。
- ⑨2005(平成 17)年 9 月 27日(火) 他館見学研修会  
師勝町歴史民俗資料館、旧加藤家住宅、師勝町回想法センター  
「昭和日常博物館」の別称をもつ旧師勝町歴史民俗資料館（平成18年 3 月 20日から北名古屋市歴史民俗資料館）の展示と、国登録有形文化財の旧加藤家住宅、民俗資料館と連携し、回想法を行っているセンターも見学。
- ⑩2005(平成 17)年 11 月 12日(土) ミュージウムフォーラム研修  
「加藤道子を語る」文化の森 5 周年記念対談で、第3回逍遙大賞受賞者の加藤道子氏の素顔について、対談を参観。
- ⑪2005(平成 17)年 12 月 23日(金)、2006(平成 18)年 1 月 11日(水) 企画展解説会  
「栗田宏一 足もとの土」展の展示解説
- ⑫2006(平成 18)年 2 月 9 日(木)、11 日 (土) 企画展解説会  
「廻国・円空－加茂をとおりて－」展の展示解説
- ⑬2006(平成 18)年 3 月 26日(日) 第2回世話人会  
各ボランティアの抱えている課題について意見交流。



(2) 個別研修・会議など

□展示ガイド

4 / 9	定例会（企画展「土に残る記憶Ⅲ」勉強会）
5 / 15	ミュージウムフォーラム参加（補助業務含む）
5 / 18	展覧会関連講座勉強会（石鏝づくりに関する実技指導を受ける）
6 / 29	定例会（今後の活動についての打合せ・円空に関するテキスト作成）
8 / 25	定例会（円空見学会の打ち合わせ・まゆの家まつり開催イベントの内容検討・来年の活動に向けて協議）
9 / 10	円空見学会（名古屋市博物館「円空」展・荒子観音見学）
9 / 23	定例会（ハンズオンイベントに用いる「道中記」取扱い実習。来年度の活動についての打ち合わせ）
10 / 4	打合会（10 / 30 イベント内容について）
10 / 9	資料調査（「道中記」検討会）
10 / 29	10 / 30（日）開催のハンズオンイベントの準備
10 / 4	「津田左右吉はどんな人だったか」講話参加



11/15	円空ゆかりの地めぐり（市内、富加町、七宗町の円空関連伝承地などを見学）
1/27	円空勉強会・定例会（円空及び関連した事柄について勉強会を行う。円空展でのガイド活動について協議）
2/11	定例会・円空勉強会（円空に関するビデオ鑑賞）
2/26	ミュージアムフォーラム参加（補助業務含む）
3/12	円空ゆかりの地めぐりツアー（ツアーの補助）

□アートボランティア

4/12	定例会（モザイクタイル講座の準備、年間予定について）
4/17	アートボランティア企画 アートな1日講座「モザイクタイル」の運営
5/10	定例会 アートボランティア企画 ビデオ上映会のチラシ作成
5/15	彫刻清掃（東図書館）
5/22	アートな1日講座「弥生の土笛づくり」サポート
6/14	定例会（銅版画講座の準備）
6/19	ビデオ上映会の開催（「世界・美の旅モネ」のビデオを上映）
6/26	アートな1日講座「銅版画」のサポート
7/10	彫刻清掃（小山公園）
7/23	定例会（栗田宏一氏との対面式）
7/24	アートな1日講座「土のかお 色・いろいろ」サポート、土の整理作業（以降、栗田宏一 足もとの土 展 期間中まで土の整理作業を継続）
8/9	定例会（土の整理作業）
8/17	彫刻清掃、みんなでもちよる1000色の土展に向けて土集め
9/4	彫刻清掃（文化の森）
9/13	定例会（土の整理作業）
9/23	ワークショップ「土とたわむれる」サポート
10/5	彫刻清掃（大手町公園）
10/12	定例会（土の整理作業）
10/16	栗田宏一ワークショップ「土の色、いろいろ」サポート
10/23	アートな1日講座「陶芸」サポート
10/26	彫刻清掃（大手町公園）
10/30	フリーマーケット「土でお絵描き」講座の開催や活動紹介の展示
11/8	定例会（土の整理作業）
11/15	彫刻清掃（文化会館）
11/20	ビデオ上映会の開催（「ジャン・ピエール・レイノーの家」 「世界・美の旅 セザンヌ」）

12/17・18	「みんなで持ちよる1000色の土」展 展示作業
1/14	「みんなで持ちよる1000色の土」展 解説
1/29	定例会、アーティストトーク「足もとの土」とミュージアムツアー「見すごしていたもの」サポート、「みんなで持ちよる1000色の土」撤収作業
2/14	定例会（アートボランティア新聞作成）
3/14	定例会（モザイクタイルの試作）
3/30	アートボランティア総会（今年度の取り組みについて）

□生活体験

4/5	生活体験ボランティア運営委員会（4・5月の活動について）
5/13	生活体験ボランティア運営委員会（蚕とまゆ展05について）
5/27	生活体験ボランティア全体会（年間事業計画、まゆ展内覧会）
5/28-6/7	カイコ当番飼育
6/10	生活体験ボランティア運営委員会（6・7月の活動について）
6/18	犬山市子ども大学・蚕とまゆ展見学のサポート
7/7	日本語教室交流会・日本の遊びのサポート 生活体験ボランティア運営委員会（8月の活動について）
7/16	竹カゴ編み練習会
7/23	「まゆの家の夏体験」練習会
8/6	「まゆの家の夏体験」練習会
8/20	竹カゴ編み練習会 生活体験ボランティア運営委員会（8・9月の活動について）
9/9	生活体験ボランティア運営委員会（9・10月の活動について）
9/10	竹カゴ編み練習会
9/29	生活体験ボランティア運営委員会（まゆの家まつりについて）
10/16	山手小学校日曜参観・昔遊びのサポート
10/21	生活体験ボランティア全体会（まゆの家まつり準備会）
10/28	まゆの家まつり 前日準備
11/4	生活体験ボランティア運営委員会（11・12月の活動について）
12/9	生活体験ボランティア運営委員会（暮ラシカル道具展準備について）
1/7	生活体験ボランティア運営委員会（1・2月の活動について）
3/3	生活体験ボランティア運営委員会（来年度事業計画について）
3/17	生活体験ボランティア全体会（まゆの家大掃除）

□学習支援

4/15	学習支援ボランティア顔合わせ会
7/15	音づくり講座準備会①（作るものの相談）
9/2	音づくり講座準備会②（材料の準備）
9/10、11	音づくり講座（「レインスティック」を作成）

※平日の学校活用での活動は、含まない。

□伝承料理の会

4/7	四季を食べる講座「ぶんたこ」リハーサル
4/13	四季を食べる講座「山菜おこわ」リハーサル
4/13	ご飯炊き講座
5/18	四季を食べる講座「朴葉餅」リハーサル
5/18	ご飯炊き講座
6/7	四季を食べる講座「基本の煮豆」リハーサル
6/9	四季を食べる講座「梅の漬け方と梅料理」リハーサル
6/30	四季を食べる講座「利休まんじゅう」リハーサル
7/27	四季を食べる講座「手作り豆腐」リハーサル
8/30	四季を食べる講座「あんこの作り方とおはぎ」リハーサル
9/28	四季を食べる講座「しいたけ料理」リハーサル
9/30	市民ミュージアム5周年記念品「げんこつ」
10/4	四季を食べる講座「しいたけ料理」
10/28	まゆの家まつり準備「タレ作り」
12/7	代表者会「18年度メニュー決め」
12/18	四季を食べる講座「餅つき」
1/11	四季を食べる講座「手作りこんにゃく」リハーサル
2/1	四季を食べる講座「先干し大根の煮物・まゆだんご」リハーサル
2/19	四季を食べる講座「手作り豆腐」リハーサル
3/3	総会
3/17	研修
3/24	講演会準備

※学校活用、文化の森の主催する講座、子ども会等での講座の講師としての活動は含まない。

□イベント

4/29	春のコンサート
7/30	サマーナイトコンサート

12/18	クリスマスコンサート
2/4	バレンタインコンサート

## 6. 平成17年度の最終登録数

	展示ガイド	アート	生活体験	学習支援	伝承料理	イベント
平成17年度	11	21	35	28	45	6
全体 のべ	146名					

※平成17年度の登録人数は、最終の人数です。登録人数は、140名。

## ◆教育普及

### 1. 各種講座

#### (1) 「定期講座」

美濃加茂市民ミュージアムでは、事前に受講生を募集して継続的に行う各種講座を開講しています。それらは、市民ミュージアムの特色を生かした内容となっています。

平成17年度は、「陶芸」「機織（初級）」「機織（中級）」「朗読講座（声のドラマ9期生）」「竹カゴ編み」「歴史講座」「美術品鑑賞入門」の7講座です。

名 称	開催日	回 数	受講者
陶芸（初心者～中級）	6月1日～	8	14名
機織り（初級）	5月18日～	5	5名
朗読講座（声のドラマ9期生）	6月17日～	6	18名
機織り（中級）	9月14日～	5	5名
竹カゴ編み（初心者）	11月10日～	6	7名
歴史講座「中山道太田宿のできごと」	1月8日～	4	25名
美術品鑑賞入門（日本画）	1月25日～	3	12名

#### (2) 「アートな1日講座」

市民ミュージアムに当日訪れた来館者の方が、気軽に美術関連の体験を行うことができる講座です。当館には、陶芸制作に伴う各種施設やフィールドとしての森に恵まれており、それらに関連したものや企画展とタイアップさせた内容で開催しています。

名 称	開催日	受講者
モザイクタイルアート	4月17日	20名
土笛づくり	5月22日	25名
銅版画	6月26日	20名
土のかお 色・いろいろ	7月24日	10名

陶芸（手びねりまたはろくろ）	8月28日	20名
七宝焼き	9月25日	20名
陶芸（手びねりまたはろくろ）	10月23日	25名
お菓子でつくるクリスマス	11月27日	32名
高畠純とクリスマスオブジェを作ろう	12月4日	33名
ミュージアムツアー「見すごしていたもの」	1月29日	35名
まゆびな	2月12日	29名
陶芸（手びねりまたはろくろ）	3月26日	24名

### (3)「森と暮らしの体験講座」

#### ①四季を食べる講座

市民ミュージアムで活動するボランティアである「伝承料理の会」と共に、この地域で伝統的に伝わる四季折々の料理を作って、食べる体験をする講座です。「伝承料理の会」と一緒に作り、語り合いながら食をとおして昔の暮らしを学びます。

名 称	内 容	開催日	受講者
四季を食べる①	ぶんだこ（草餅）	4月17日	18名
四季を食べる②	山菜おこわ	5月10日	16名
四季を食べる③	手打ちそば	5月15日	20名
四季を食べる④	朴葉餅	6月7日	30名
四季を食べる⑤	梅のつけ方と梅料理	6月19日	20名
四季を食べる⑥	利休まんじゅう	7月5日	19名
四季を食べる⑦	ミョウガ寿司	7月17日	19名
四季を食べる⑧	基本の煮豆	8月2日	6名
四季を食べる⑨	茶飯と簡単漬物	8月21日	12名
四季を食べる⑩	あんこの作り方とおはぎ	9月6日	20名
四季を食べる⑪	栗おこわ	9月18日	22名
四季を食べる⑫	しいたけ料理	10月4日	21名
四季を食べる⑬	へぼご飯	11月1日	21名
四季を食べる⑭	じねんじょ・むかご	11月20日	10名
四季を食べる⑮	おせち料理	12月6日	19名
四季を食べる⑯	もちつき	12月18日	27名
四季を食べる⑰	手作りこんにゃく	1月15日	17名
四季を食べる⑱	ぎんなんおこわ	2月7日	16名
四季を食べる⑲	先干し大根の煮物とまゆ団子	2月19日	18名
四季を食べる⑳	手作り豆腐	3月7日	20名

## ② 「暮らし体験講座」

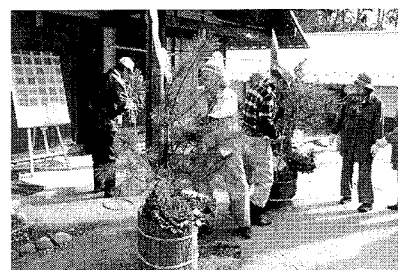
かつては、どこの家庭でも行われていた、昔懐かしい日常の1コマを再現します。生活体験館（まゆの家）を中心として、参加者と生活体験ボランティアが一緒になって体験活動するものです。

名 称	内 容	開催日	受講者
暮らし体験①	季節を染める①	4月23日	11名
暮らし体験②	お茶摘み体験講座	4月30日	21名
暮らし体験③	まゆから糸をとる	7月9日	32名
暮らし体験④	季節を染める②	7月30日	13名
暮らし体験⑤	まゆの家の夏体験	8月12日	100名
暮らし体験⑥	季節を染める③	9月17日	13名
暮らし体験⑦	季節を染める④	12月3日	15名
暮らし体験⑧	たこづくり	12月17日	7名

## ③ 「生活体験館（まゆの家）年中行事」

私たちの暮らしは、一年のうちで決まった時期に行われる儀式や催しも物によって季節が意識されています。まゆの家でも来館者と共に行っています。

名 称	開 催 日
鯉のぼり立て	4月15日～5月5日
七夕かざり	6月26日～7月7日
年末の準備・門松作り	12月17日～1月8日
鏡開き	1月7日
ひなかざり	2月15日～3月3日



## ④ 「自然観察会」

文化の森とその周辺には、たくさんの自然が残されています。そこで生きる草花や昆虫、動植物達の活動に目を向ける講座です。

名 称	内 容	開催日	受講者
春の草花観察会	文化の森および周辺でたくさんの種類をもつスミレの仲間など、多くの植物の名前や見分け方を学ぶ	4月2日	12名
みのかもの地層と化石を探ろう	木曾川周辺において、地層や化石を観察	8月13日	10名
虫の音を聞く会	文化の森周辺で身近な虫の音を聞き分ける	8月27日	20名
このキノコは何	キノコの自然界での役割について	10月22日	30名

#### (4)「ミュージアムトーク」

自然、考古、歴史等の各分野から構成される常設展示室の解説を来館者に対して行うものです。一方向の説明ではなく、参加者の疑問に答えながら進めていきます。定期的に行うものと団体見学時に行うものがあります。日本語だけではなく、外国語でも行いました。

## 2. 夏休み子ども講座

この地域の歴史や自然、文化を、次世代の子どもたちにも伝え受け継がれていくことを願い、夏休み期間中に親子参加型の講座を企画しました。子どもたちの目を通して、大人の再認識の機会となればと思います。今年度は、美濃加茂市の理科の先生にも協力を依頼し、講師として参加いただきました。

名 称	内 容	開催日	受講者
ナイトサファリ	トラップを使って昆虫を捕まえて夜の活動を観察すると共に、森の中にいる昆虫の種類や捕まえ方、飼育の仕方を学ぶ。	7月22日	26名
カイコのふしぎたんけん	市内の養蚕民家を訪問し、カイコの飼育の仕方やエサとなる桑摘みの体験をする。	7月27日	30名
土のふしぎ	1月に開催する展覧会に合わせ、市内数カ所で土を採取。様々な色の土があることに気づく。子どもたちが集めた土の作品は展覧会にも出品。	7月28日	18名
あかりにへんしん森の木々	森にある木の枝を組み合わせ骨組みにし、和紙に絵をかくてランプシェードを作る。	7月31日	30名
手作りとうふ	子どもたちにも身近な食材であるとうふを作る。	8月7日	8名
ぼーっと星空をながめてみよう	文化の森の芝生広場から見ることのできる星を観察。親子でのんびり星を見る機会となった。	8月10日	26名
君も科学マジシャンだ！	理科の視点から、身近な材料でもできる「科学マジック」を体験した。	8月21日	21名

## 3. 博物館実習

博物館において、資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業について専門的事項を司る職員が学芸員ですが、学芸員養成課程をもつ各大学の要請により、実習が行われました。



平成 17 年度は、8/16(火)～8/20(土)の 5 日間について、岐阜聖徳学園大学(5 名)、東海女子大学(2 名)、岐阜大学(1 名)、愛知淑徳大学(2 名)、愛知学院大学(1 名)、名古屋学芸大学(1 名)の 12 名に対して行いました。学習内容は、別表のとおりです。そのうち、「博物館評価資料作成及び発表会」については、館の設置者の行政改革等による事業の見直し、市民による情報公開の要望等に対応するための資料となる「博物館評価」を実習生に求めたものです。実習生は、各グループ毎に分かれて調査・発表を行い、終了後に討議を行いました。各グループのテーマは、「歴史と自然に関わる博物館経営」(A グループ)、「生活体験館の活用状況」(B グループ)、「学校における文化の森活用」(C グループ)、「文化の森の施設」(D グループ)でした。

日 程	時限	実 習 内 容	活 動 場 所	形 態	備 考
8/16(火)	1	オリエンテーション	研修室	講義	
	2	館内見学	館内、外	見学	
	3	学芸員と博物館の仕事	研修室	講義	
	4	展示と展覧会の進め方	研修室	講義	最終日発表会のための指導含む
8/17(水)	1	博物館とボランティア	生活体験館	講義	生活体験ボランティアとの話
	2	博物館と学校の関わり	研修室	講義	学校活用のあり方
	3・4	野外彫刻の整備	前平公園	実習	アートボランティアとの協働
8/18(木)	1・2	収蔵庫の環境と管理	収蔵庫 1・2	実習	
	3・4	博物館資料の管理	収蔵庫 2	実習	養蚕関連図書資料の整理と台帳作成
8/19(金)	1・2	博物館資料の取り扱いと整理	収蔵庫ほか	実習	歴史資料の取り扱い
	3	考古資料の整理	別棟収蔵庫	実習	
	4	博物館のもつ情報	情報学習室	講義	デジタルアーカイブ、著作権
8/20(土)	1・2	民具資料の整理と燻蒸作業	別棟収蔵庫ほか	実習	IPM への取組み
	3・4	博物館評価資料作成及び発表会、実習レポートの作成	研修室		



## ◆虫害対策

### ①資料等の燻蒸

収集した資料は、原則として一時保管場所へ搬入し、燻蒸後、収蔵庫に搬入します。

#### <移動燻蒸車で資料燻蒸>

燻蒸施設のない当館では、毎年専門業者へ委託して実施しています。移動燻蒸車の容量は約82.8立方メートル。薬剤はヨウ化メチル、フッ化スルフルル等を使用。平成17年度は3回行いました。

#### <民具展示館・民具収蔵庫の燻蒸>

展示室や収蔵庫への出入などにもない、害虫などが侵入します。資料に適する環境を保つために、燻蒸を行います。平成17年度は民具展示館・民具収蔵庫の防虫作業を1回行いました。薬剤は、シフェノトリンを使用しました。

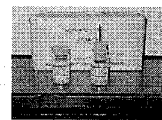
### ②モニタリング

専門業者によるモニタリング調査を行っています。展示室収蔵庫、館内数ヶ所に粘着トラップを設置し、夏春の2回調査を行いました。調査により館内の虫の発生状況を把握しております。特別収蔵庫のダスト測定を行い収蔵庫内の環境についても調査しています。

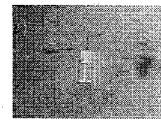
工 務 等 費



燻蒸資料



ダストサンプリング



ダストサンプリング施設



収蔵庫の設置



殺虫作業



ガス濃度測定

## ◆学校活用の理念と現状

### 1. 学校教育とみのかも文化の森

#### (1) 小中学校が博物館を利用する意味

みのかも文化の森・美濃加茂市民ミュージアム（以下文化の森と略）は、設立準備段階から市内小中学校の教員で構成する委員会を立ち上げ、学校との連携を重点として進めてきました。すでに平成元年度告示の「小学校学習指導要領」の社会には、「博物館や郷土資料館等の活用を図るとともに、身近な地域及び国土の遺跡や文化財などの観察や調査を行い」とあり、同じく「中学校学習指導要領」の社会にも同文が記されています。そして平成10年度においても、さらに現行の学習指導要領では、各学年の指導計画を作成するに当たって社会、理科、図画工作、美術、そして総合的な学習の時間等に、博物館や美術館、郷土資料館等の見学・調査・活用を図ることが示されています。多くの教科でまた生涯学習の面から、ますます博物館と学校教育の関係が重要になってきました。

これは、「生涯にわたる学びの場」としてミュージアムをとらえ、それを自分の学びへと取り込める人を育てることと重なります。文化の森には人、自然、文化に関する「本物」が収集・展示されており、それらについて調査・研究する学芸員がいます。そして児童生徒にとっては、

生涯にわたって学んでいる先輩と言えるボランティアがいます。さらに、その要素を学校と結ぶ学習係がいます。児童生徒がここで具体的に学習したり、人との関わりから学んだりする体験ができるように、組織的に仕組むことによって、学校が意図する学習のねらいを、より効果的に実現させることが可能です。

## (2) みのかも文化の森の学習支援体制と設備の特色

文化の森にある様々な資料やボランティア、そして専門の学芸員を活かすことによって、幅広い体験学習と深まりのある学習が可能になります。このような学習は、小中学校が文化の森を計画的・継続的に活用することが前提となります。

ここでの学習は、教科学習や総合的な学習の時間のように、学年の年間指導計画（カリキュラム）に位置付いた学習であり、単元の目標を達成するための学習であることが必要です。学校の授業と同様に、また「森の学校」でしかできない授業ができるようにと、学校と文化の森とをつなぐ様々な支援体制をつくってきました。



### ①学校教育活動を具体的に結ぶ文化の森学習係

学校と文化の森との連携を密にし、各教科・領域の年間計画に基づいた単元目標を達成するための継続的・計画的な授業とするために、文化の森には学習係が位置づけられています。学習係長は教育委員会学校教育課との兼務であり、教諭がその職にあります。学習係は現在4名で構成され、学校との連絡調整や学習内容の検討、来館した児童生徒の指導等を行っています。



その中で最も大切にしているのは、事前の打ち合わせです。学習のねらいを共通理解し学習内容や時間、担任や学習係、学芸員、学習支援ボランティアの役割分担を具体的かつ明確にするために、これは欠かせない営みです。

### ②教員で構成された文化の森活用委員会

文化の森活用委員会は、併設する教育センターに事務局を置いています。代表学校長を委員長に、市内の小中学校の教諭で構成され、活動プラン作りや自校への活動紹介、活動の評価などを行っています。

### ③児童生徒を支援する学習支援ボランティア

文化の森では展示ガイド、アート、生活体験、伝承料理、イベント、学習支援の6分野の各ボランティアがそれぞれの活動を支援しています。学校活用においては主に学習支援ボランティアが、児童生徒の引率や館内の案内、学習の補助などの支援を行っています。現在、主婦・教員退職者・大学生等、31名の登録があり、各自の都合に合わせて活動しています。ミュージアムと児童生徒を、地域で育む大きな原動力となっています。



### ④学校と森・施設を結ぶバスの運行

文化の森は市のほぼ中央に位置していますが、徒歩で来館して授業時間を十分確保できる学校は1校です。この便宜を図るために準備段階から要望し、導入したのが文化の森専用のバスです。「ぶんぶんバス」と命名されたこの40人乗りのバスは、市内小中学校とみのかも文化の森間の送迎だけでなく、必要に応じてみのかも文化の森と他の施設間の送迎も行っていました。平成17年度からは、この「ぶんぶんバス」が外部委託になりました。

### ⑤一日過ごせる給食配送設備

事前に予約をすることにより、終日の活動の際には、学校と同様に文化の森でも学校給食をとることができます。保健所と市学校給食センターの指導を得て、給食用ワゴン、冷蔵庫、配膳台等を用意しました。衛生面にもよく配慮をしています。

## 2. みのかも文化の森における学習の実際

### (1) 文化の森で授業を行うプロセス

#### ①学校活用の年間計画

新年度が始まるまでに各学校の利用日を決めておきます。年度末に各学校の利用できる優先日を割り振り、学習係が各学校へ連絡します。同時に学習係は、文化の森の各施設を学校が利用できるように予約しておきます。各学校では教務主任が学校の行事予定を考慮して学習係と調整を行い、新学期を迎えます。

#### ②学習活動のねらいと概要を報告

利用日が近づくと、文化の森でどの教科（領域）でどのような活動を行いたいのか、担任から学習係へ連絡があります。美濃加茂市内の学校は、活動の概略が書き込める活動案テンプレートやバス利用の申請書など、記入して学習係に送れるようにネット（逍遙ネット）で結んであり、これを共に活用します。保育園や市外の学校とは、電話やFAX等で連絡を取り合います。

### ③担任と学習係との事前打ち合わせ

授業のおよそ2週間前に担任は文化の森に来館し、略案をもとに学習係と打ち合わせを行います。時には学芸員も参加し、学習を練り合います。学習のねらいや内容について、双方で準備するもの、バスの送迎時刻、昼食の有無など、学校側と文化の森側とが共通理解を得られるように、じっくりと話し合うようにしています。

### ④学習活動案（細案）の作成

事前打ち合わせをもとに、学習係が学習活動の細案を作成します。担任の指導を中心としながらも、学芸員や学習係、学習支援ボランティアがどの段階でどのような支援を行うかを明確にし、関係者全員が学習のねらいを共通理解できるように配慮します。活動案は、学校等にはメールで届けるとともに、学習支援ボランティアを含むスタッフにも配布します。

### ⑤みのかも文化の森での授業

学校と同様、授業を中心に進めるのは担任です。授業の中に学芸員、学習係員、学習支援ボランティアが入りTT（チームティーチング）を行い、実りある授業を心がけています。

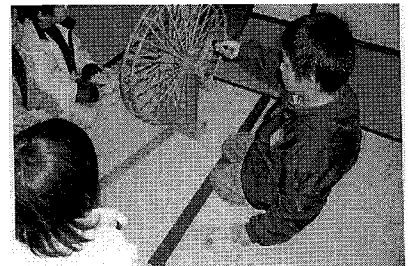
### ⑥1年間の活用をHPや実践集で公開

1年間に行った活動を学年毎にまとめ、さらに文化の森活用委員会や学芸員考案による新プラン、利用したワークシート類を編集して「活用の手引き・活用実践集」を作成します。これが次年度の教員の手引き書となります。文化の森HPでは学習活動の全紹介もしています。

## （2）平成17年度 学校活用例

### ①はじめに

開館5年が過ぎ、イベント的な活動から各校の特色に合わせた継続的な活動へと移行してきました。年間の活用学校はのべ130校余りになり、ここでそのいくつかを紹介いたします。



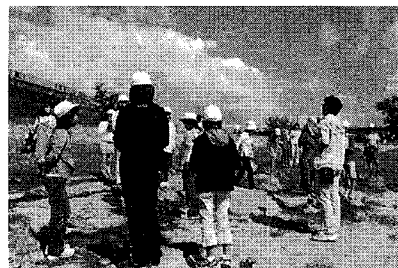
### ②たぬきの糸車（小学校1年生 国語）

生活体験館「まゆの家」にて、教材「たぬきの糸車」の朗読を鑑賞しました。板戸や障子など、物語の情景を再現しながら、朗読を聴くことで、一層物語を身近に感じることができます。朗読は「みのかも声のドラマの会」の方にお願ひし、児童に朗読の指導もしていただくこともあります。

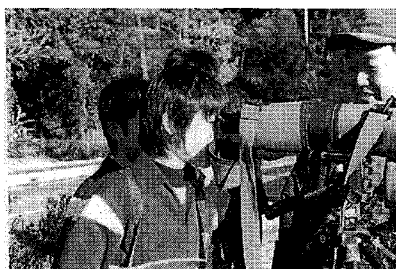
### ③大地のつくりと変化（小学校6年生 理科）

美濃加茂の大地のつくりを知るための手がかりを見つける学習でした。

火山のはたらきによってできた大地の学習は、文化の森の周りで岩石や地層を観察しました。また、川のはたらきによってできた大地の学習は、国定公園でもある「化石林公園」にバスで行き、学芸員の解説を聞きながら、珪化木や化石が発見された実際の地を見学しました。バスの中でも、河岸段丘である美濃加茂の地形を意識しながら移動することができました。



### ④美濃加茂の自然（中学校1年生 総合的な学習の時間）



美濃加茂市の環境についての現状と課題を学びました。天然記念物「ネコギギ」や市内の川の環境、森の変化のついて学芸員から話を聞いたり、実際に太郎洞池や森に棲む生き物の観察をしたりしました。美濃加茂の自然を守るためにできることをボランティアさんを交えて話し合いました。

## 3. 成果と課題

### (1) 成果

開館当時小学校1年生だった児童が、6年間の文化の森での活動を経て、小学校を卒業しました。卒業を前にした子どもたちに6年間を振り返るアンケートを採りました。子どもたちは、自然を使って体を動かした活動や、初めて経験したことが印象に残っていると答えてくれました。

また、ボランティアさんや学芸員・学習係とのふれあいについても感謝の気持ちが書かれており、「私も大人になったら文化の森でボランティアをしてみたい。」という気持ちになり、自分の将来に目を向けている子もいました。

このアンケートから、綿密な打ち合わせの結果、指導者によって練り上げられた活動の構築は、子どもに確かな力をつけていることが分かりました。

平成17年度は、例年作成してきた「活用の手引き・活用実践集」、「活用実践集ダイジェスト版」に加え指導者向けに「活用ガイド」を作成しました。これは、指導者が「博物館」としての機能を生かせるよう、また「生涯学習」という視点を見据え、資料をどのように発達段階にあわせて、授業に活かしていくのかを明らかにしたものです。開館当時の願いを理解し、継承するためにも新しい指導者から喜ばれていることは、大きな成果であると考えています。

(2) 課題

中学校の活用内容についてが課題です。市内の中学校は、学校規模が大きく、学年全員にわたって同一のプログラムを実践することは難しいこと、また往復に時間がかかることもあって、活用がなかなか計画されません。総合的な学習の時間での活用がありますが、文化の森で2回3回学ぶというような継続した活動は実践されていないのが残念です。今後、機会を設け、みのかも文化の森にある人、もの、こと、場を学校に伝え、学習材を開発したり、文化の森活用委員会でプランを練ったりして中学生の学習欲求に応えられるような活用を生み出していきたいと考えています。

また、活用が豊かになるにつれ、指導者や子どもが安心して文化の森で授業が行えるように、安全面の配慮が重要になってきました。学校とは違い、多くの市民が活用する公共の場です。たくさんの方の出入りもあります。活動中の子どもたちの安全を確保できる人、緊急時に被害を最小限に食い止める連絡体制等を含めた安全に関する環境づくりをより心がけていきます。

平成 17 年度 学校活用利用者数

月	学校活用来館 児童生徒数	クラス数	学 年 数	給 食	ボランティアさん のべ人数
4	257	7	3	0	9
5	603	21	10	2	27
6	972	32	21	0	24
7	362	16	14	0	26
8	49	2	2	0	2
9	579	22	13	1	26
10	1,353	46	31	1	22
11	1,127	39	23	2	48
12	675	24	16	1	11
1	444	13	8	0	14
2	699	26	15	1	46
3	432	14	6	0	20
合計	※7,552	262	162	8	265

※内訳 幼保 378 名、小学生 7,005 名、中学生 169 名



4年：社会「古い道具と昔の暮らし」

## ◆教育センター

平成4年に、学校教育だけでなく、家庭・社会教育を含めた美濃加茂市の教育の拠点として教育センターが開設されて14年目を迎えました。文化の森に市民ミュージアムとの複合施設としてスタートして6年が経過しました。

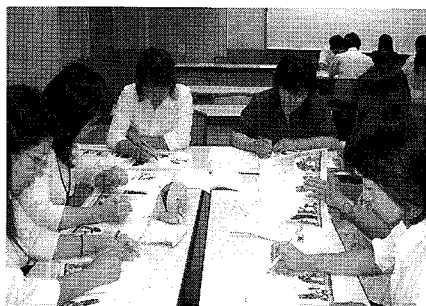


(子ども展)

### 1 研修

#### (1) 研修講座

平成17年度の研修講座は、4コース（課題研修、教科研修、実技研修、市民参加）46講座を実施しました。



(オープン講座 道徳)

教員の資質向上を目指して、可茂教育振興事務所学校教育課の指導主事を講師として、国語、社会、算数・数学、理科、英語、体育、図工・美術、家庭・技術の教科指導や、道徳の講座を実施しました。道徳は、2回行ったが、2回とも多くの受講者がおり、道徳教育の重要性を改めて認識した。実技研修は、毎年好評であり、今年度も多くの受講者であり、レベルが上がってきている。

琴などは、2日間で2曲弾くことができるようになり授業に即活用できる実践的な内容でした。

学力向上が問われる現在、教師に力を受けてもらうことが第一の目的であり、教育センターとしては、大きな課題といえます。

教育講演会は、青山学院大学文学部教授の佐伯 胖先生を講師として迎え、「学びを問いつづけて」について講演をしていただいた。「学び」とは、人間の、最も人間らしい営みとしての学びであり、むしろ「よく生きること」とほとんど同意義である。すべての教育改革は、日々の授業実践から生まれる。時代を超えた「教育の原点」に立ち返って見つめることが大事である等々のお話を伺い、改めて、教師は、授業実践の大切さを痛感させられました。500名以上の児童・保護者の参加があった。美濃加茂市の小学生は、理科に対して非常に興味関心が高く理科的な思考・判断力を高めるよい機会でした。

今年度の研修講座等の参加者は、およそ1,667名で、文化の森で実施した美濃加茂市教育研究会の科学作品展・社会科作品展の参加者2,511名と、子ども展参加者2,604名を含めると、6,689名の参加でした。

## (2)教育センター広報「ひびきあい」・「ひびきあい壁新聞」の発行

教育センターの活動をより多くの人たちに理解していただくために、今年度は、「ひびきあい」広報を自治会にも配布しました。「ひびきあい」広報は、センターの活動、学校教育の現状、教育の動向などを内容としました。また、「ひびきあい壁新聞」は、文化の森、中央公民館、福祉センターに掲示し、市内の学校の教育活動を市民に紹介しました。

## (3)教材教具・図書資料の貸し出し

図書教材、ビデオ教材、センターの所有する資料を紹介し、貸し出しました。

## (4)学習意識調査、学習状況調査

10月に学習意識調査、1月に学習状況調査を市内の小学校5年生と中学校2年生で行いました。市内の学力の状況を知り、来年度の課題を明確にすることで、次年度の教育課程の改善に役立ちました。

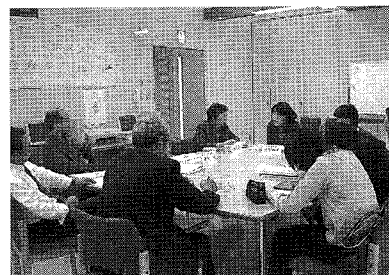
## 2. 教育支援（教育相談・あじさい適応指導教室）

素晴らしい自然と施設、そして人に恵まれた「文化の森」へあじさい教室や教育相談窓口が移転して6年が経過しました。SSN（スクーリング・サポート・ネットワーク）整備事業は2年目を迎え、可茂地区の4つの支援教室が連携を密にして体験活動を進めています。また、毎月の電話相談・来所相談は10数件で推移しています。

### (1) 教育相談

#### ①相談件数等

不登校児童生徒および保護者の教育相談活動やカウンセリングを行っています。電話相談・来所相談が休日祭日にも受けられるような態勢をとっています。次の表がその結果です。内容的には不登校に関するものが多く、友人関係、軽度発達障害に関すると思われるもの・・・と続きます。



	来室相談		電話相談		学校訪問		合計	
	H16	H17	H16	H17	H16	H17	H16	H17
件数	127	91	116	48	312	409	555	548

#### ②相談員研修会の実施

各校の相談員研修会は毎月、相談主任研修会は学期に1回実施し、児童生徒の様子それぞれの実践の交流会をしています（講師の指導も含まれます）。研修会以上に、普段日常の、学校とセンターの「連携」を特に大事にしています。これが学校復帰の土台になります。



## (2) あじさい教室（適応指導教室）の経営

学校に登校できない児童・生徒をあじさい教室に受け入れて、学習、生活、体験活動を自主的に行えるよう支援してきました。スクーリング・サポート・ネットワーク(SSN)整備事業の指定を受け、可茂地区の4つの適応指導教室が連携して人や自然と触れ合う体験活動を行いました。体験を積み重ねることで、心を開き自信を持って生活できることをめざしました。文化の森の自然や施設、そこに集まってくる人々等、人的物的環境を生かしたプログラムを用意してきました。



### (主な体験活動)

ア、SSN 体験活動（宿泊体験、スキー教室等）11回

イ、調理実習（ちらし寿司、ハンバーグ等）12回

ウ、その他、山登り、陶芸教室、餅つき等

この1年間に来所した児童生徒は、小学生2人中学生15人計17人でした。年間を通して来所した児童生徒以外に、体験活動のみに参加した者もいます。市内不登校児童生徒数は21人（年間最大）なので、来室割合は高いと言えます。（年間延べ人数1097人）また1日の最大来室人数は11人でした。今年度、学校復帰できた児童生徒は、卒業後の復帰を含めて、小学生2人中学生6人でした。多くの児童生徒が学校復帰ができたのは、教室経営と連携の成果であると考えています。

## ◆施設の利用状況

### 1. 利用者数

月	常設展	企画・特別展	学校活用	教育相談等	貸館	定期講座	イベント等	情報学習室	視察	その他	合計
4月	1,820	586	257	413	2,645	0	232	18	0	617	6,588
5月	2,575	956	603	274	1,769	10	753	14	0	696	7,650
6月	2,307	323	972	287	3,129	99	405	0	10	849	8,381
7月	2,300	719	362	251	2,081	58	788	0	30	659	7,248
8月	1,981	484	49	279	1,940	16	162	47	0	496	5,454
9月	3,076	264	579	372	3,929	15	2,825	0	16	1,108	12,184
10月	3,395	378	1,353	286	4,149	27	4,336	20	8	1,400	15,352
11月	2,406	1,722	1,127	319	1,877	21	1,905	0	33	941	10,351
12月	1,597	86	675	260	2,371	21	1,381	0	18	657	7,066
1月	1,502	1,382	444	255	1,727	12	238	0	14	557	6,131
2月	1,475	1,116	699	330	1,872	330	330	362	15	652	7,181
3月	1,670	743	432	296	1,215	0	101	103	5	456	5,021
合計	26,104	8,759	7,552	3,622	28,704	609	13,456	564	149	9,088	98,607
前年度	27,138	11,239	6,248	4,061	32,063	398	15,833	249	238	9,659	107,126
比較	-1,034	-2,480	1,304	-439	-3,359	211	-2,377	315	-89	-571	-8,519

※その他には、ボランティア活動参加者、喫茶店利用者等を含む。

## ◆来館者アンケートの結果

みのかも文化の森では、企画展開催時に来館者アンケートを実施しました。本結果は下記の日程でおこなった来館者アンケートの5回分をまとめたものです。

☆実施日と開催中の企画展名	
平成17年 4月29日～	6月12日 土に残る記憶Ⅲ-弥生と古墳-展
平成17年 7月 2日～	9月 4日 今森光彦 「里山物語」展
平成17年 9月17日～	10月23日 素材への思い-力と可能性-展
平成17年12月20日～	1月29日 栗田宏一 「足もとの土」展
平成18年 2月 4日～	3月21日 「廻国・円空-加茂をとおりて-」展
総回収数	2,064 枚

### 1. どちらからお越しですか?

<input type="checkbox"/> 美濃加茂市内	696 名
<input type="checkbox"/> 市外(岐阜県内)	967 名
<input type="checkbox"/> 岐阜県外	401 名

### 2. あなたの年齢は?

<input type="checkbox"/> 10歳未満	34 名
<input type="checkbox"/> 10代	51 名
<input type="checkbox"/> 20代	109 名
<input type="checkbox"/> 30代	206 名
<input type="checkbox"/> 40代	262 名
<input type="checkbox"/> 50代	502 名
<input type="checkbox"/> 60代	548 名
<input type="checkbox"/> 70歳以上	302 名

### 3. あなたの性別は?

<input type="checkbox"/> 男性	958 名
<input type="checkbox"/> 女性	1,076 名

### 4. どのようにお越しになりましたか?

<input type="checkbox"/> 自動車	1,870 名
<input type="checkbox"/> 鉄道	72 名
<input type="checkbox"/> コミュニティバス	10 名
<input type="checkbox"/> タクシー	14 名
<input type="checkbox"/> 徒歩	51 名
<input type="checkbox"/> 自転車	38 名
<input type="checkbox"/> その他	33 名

### 5. どなたと来館されましたか?

<input type="checkbox"/> 一人で	567 名
<input type="checkbox"/> 家族と	864 名
<input type="checkbox"/> 友人と	487 名
<input type="checkbox"/> その他	99 名

### 6. 何回目のご来館になりますか?

<input type="checkbox"/> 初めて	901 名
<input type="checkbox"/> 2回目	149 名
<input type="checkbox"/> 3～5回目	283 名
<input type="checkbox"/> 6回目以上	577 名

### 7. 展示(企画展)についてお聞かせください。

#### ①企画展を何でお知りになりましたか?

<input type="checkbox"/> 友人などから	423 名
<input type="checkbox"/> 文化の森ニュースやポスターなど	523 名
<input type="checkbox"/> 市の広報	341 名
<input type="checkbox"/> 新聞や雑誌など	323 名
<input type="checkbox"/> インターネットから	76 名
<input type="checkbox"/> JR車内広告	17 名
<input type="checkbox"/> 他の博物館	72 名
<input type="checkbox"/> その他	375 名

#### ②展示資料・作品のみやすさ(配置、明るさ、空間など)にご満足いただけましたか?

<input type="checkbox"/> 満足	707 名
<input type="checkbox"/> ほぼ満足	738 名
<input type="checkbox"/> 普通	421 名
<input type="checkbox"/> やや不満	94 名
<input type="checkbox"/> 不満	8 名

#### ③展示の資料作品のわかりやすさ(解説、説明、パネルなど)にご満足いただけましたか?

<input type="checkbox"/> 満足	603 名
<input type="checkbox"/> ほぼ満足	753 名
<input type="checkbox"/> 普通	505 名
<input type="checkbox"/> やや不満	112 名
<input type="checkbox"/> 不満	12 名

#### ④展示の資料・作品からの満足感(感動、発見、知的刺激など)が得られましたか?

<input type="checkbox"/> 満足	702 名
<input type="checkbox"/> ほぼ満足	754 名
<input type="checkbox"/> 普通	466 名
<input type="checkbox"/> やや不満	104 名
<input type="checkbox"/> 不満	18 名

#### ⑤この展示を他の人に伝え、すすめたいと思いますか?

<input type="checkbox"/> 大いに	889 名
<input type="checkbox"/> 少し	606 名
<input type="checkbox"/> どちらともいえない	384 名
<input type="checkbox"/> あまりすすめたくない	28 名
<input type="checkbox"/> すすめたくない	6 名

## 8. 館の施設や対応についてお聞かせください。

### ①館の施設や雰囲気・美観などご満足 いただけましたか?

<input type="checkbox"/> 満足	852名
<input type="checkbox"/> ほぼ満足	693名
<input type="checkbox"/> 普通	356名
<input type="checkbox"/> やや不満	32名
<input type="checkbox"/> 不満	4名

### ②スタッフの対応(総合案内、会場内、 他のスタッフなど)にご満足いただけま したか?

<input type="checkbox"/> 満足	862名
<input type="checkbox"/> ほぼ満足	621名
<input type="checkbox"/> 普通	427名
<input type="checkbox"/> やや不満	25名
<input type="checkbox"/> 不満	9名

## 9. 文化の森へのご意見、ご要望をお聞かせください。

### ○土に残る記憶Ⅲ-弥生と古墳展

- ・とてもたのしかった、とてもおもしろかった。
- ・このような催しはこれこれからも続けてくださるとよいと思います。
- ・古代の生活用品が復元されていて、実際にさわったりできるところがよかった。
- ・火起こしの実験がおもしろかった。
- ・服をきてたのしかったです。ひみこの服や農民の服。
- ・子どもが体験(無料で)できるコーナーが常にあるとうれしいです。

### ○今森光彦「里山物語」展

- ・里山物語は本で知っていたので、直接写真を見ることができたので良かったです。写真のコメントがあれば知りたいと思いました。
- ・今森さんの話を聞きながら見ることが出来て本当によかった。
- ・展示を見て里山の四季を昆虫の目を通して見ることができたように思います。
- ・身近に残された日本の美しさが紹介されていて感心しました。自然の美しさに感動し、自然との共生姿勢を大切にしたい。
- ・情緒があふれていて見ていて安心、感動、微笑、がつつわってくる写真でした。琵琶湖方面へは撮影に出掛けますが、こんなすばらしい棚田があったとは知りませんでした。沢山の自然がまだ残っていてよいところです。

### ○素材への思い展 -力と可能性-

- ・大変内容のある企画展だと思います。特に、地元の作家を中心に交友関係のある優秀な作家をコラボレーションすることにより、鑑賞者に感動が増している。
- ・自然の形が再認識できてよかったです。質感もしっかりしました。
- ・素材そのものを感じるとともにそこから派生する空間の空気を感じられた気がしました。とても見やすい三者の組み合わせ企画でした。こうした内容でもっと企画してほしい。
- ・彫刻、陶彫という手で触らず目で見ただけの展示でした。手で触られる彫刻などないのでしょうか?あったら楽しいと思います。

### ○栗田宏一「足もとの土」展

- ・土がこんなにも美しいものであることに今まで気がつきませんでした。これからは、土を見る時少し気が変わりそうです。
- ・「土」そのものがもう少し近くで見られると良いと思う。内容は、非常に高いと思います。今後の企画にも期待します。
- ・来て見ないとわからないことが多いのですが、色々な展示があり楽しんで見ることの出来る物が多いですし館内、外の雰囲気も落ち着いていてゆっくり出来ます。これからもさまざまな展示、催しが楽しめますように。
- ・私どもの育った時代を思い出しなつかしく思いました。また、土にもこの様な種類、土地柄より違いがあることを知り楽しく拝見しました。

### ○「廻国・円空-加茂をとおりて-」展

- ・加茂地区に有る個人蔵まで参詣するのはなかなか個人では出来ないがこのような展示で拝観する事が出来て良かったです。
- ・観覧する方もとてもマナー良く、静かでゆっくりと見てまわる事ができました。円空の顔もとてもおだやかな顔つきでとても心がなごみました。
- ・円空上人について初めて実物像を(ゆっくり)見せてもらいました。生い立ちについてよくわかりました。
- ・円空像を見れて大変よかったですと思います。ゆっくりとした空間スペースに癒されます。
- ・ボランティアの方の説明をうける事ができ大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・円空の仏像、それも美濃加茂にあるものをまとめて見ることはなかなかできないので、それが、可能であることはとても良かった。地域に住んでいてもなかなか見られないので。

(主な意見や要望を抽出)

# ◆ 広報活動の記録

平成17年度中に掲載された主な新聞・雑誌等についてのまとめ

新聞関係	掲載紙	掲載号・掲載日	掲載内容	
岐阜新聞		2005. 4. 6	地域ゆかりの作家 小林文一展	
		2005. 4.29	春・朗読の1日	
		2005. 5. 8	森のコンサート	
		2005. 5.10	つかってみよう-弥生人体験-	
		2005. 5.12	土に残る記憶Ⅲ-弥生と古墳-展	
		2005. 5.13	ミュージアムフォーラムへ土に残る記憶Ⅲ展「古代人のココロを探る」	
		2005. 5.19	春・朗読の一日 土に残る記憶Ⅲ-弥生と古墳-展	
		2005. 6. 5	佐野えんね紹介展 日本に住むと日本の暮らし	
		2005. 6.24	アートな1日講座「銅版画」	
		2005. 7. 1	のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展	
		2005. 7.10	のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展 /ミュージアムトーク	
		2005. 7.15	第43回森の朗読会	
		2005. 8.11	ジャズコンサート 白崎彩子ピアノトリオ JAZZ LIVE!	
		2005. 8.19	アートな1日講座「陶芸」	
		2005. 8.23	のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展 /ミュージアムトーク	
		2005. 9. 2	自然観察会「虫の音を聞く会」 四季を食べる講座「あんこの作り方とおはぎ」	
		2005. 9.30	素材への思い-力と可能性-展	
		2005.10.13	博学連携フォーラム	
		2005.10.14	シェークスピア劇「ベニスの商人」	
		2005.11.12	竹カゴ編み講座	
		2005.11.18	くらし体験講座「冬を染める」 ゴールデンアート劇場	
		2005.11.20	第50回美濃加茂市美術展	
		2005.11.25	アートな1日講座「高島純とクリスマスオブジェをつくらう」	
		2005.12. 2	第9回朗読フェスティバル	
		2005.12.16	栗田宏一 足もとの土展 四季を食べる講座「もちつき」	
		2005.12.18	くらし体験講座「たこづくり」	
		2005.12.23	四季を食べる講座「手づくりこんにやく」	
		2006. 1.21	暮らしカル道展06-おこめをつくる道具たち- /お米ができるまで	
		2006. 1.27	森のコンサート「シャンソン」	
		2006. 2. 1	四季を食べる講座「ぎんなんおこわ」	
		2006. 2. 3	四季を食べる講座「ぎんなんおこわ」	
		2006. 2. 4	山手小 総合学習「縄文土器作り」	
		2006. 2.10	第49回 森の朗読会	
		2006. 2.11	第49回 森の朗読会	
		2006. 2.14	アートな1日講座「まゆびな」	
		2006. 2.15	四季を食べる講座「先干し大根の煮物とまゆだんご」	
		2006. 2.24	ミュージアムフォーラム「円空の生涯からみた加茂地域」	
		2006. 2.26	廻国・円空-加茂をとおりて-展	
		2006. 3.17	子どもワークショップ「アートカードゲームで遊ぼう」	
		2006. 3.24	アートな1日講座「陶芸」	
	中日新聞		2005. 4. 3	地域ゆかりの作家 小林文一展
			2005. 4.14	四季を食べる講座「ぶんだこ」
		2005. 4.28	春・朗読の一日	
		2005. 5.12	定期講座「陶芸」	
		2005. 5.26	蚕とまゆ展05	
		2005. 6. 8	佐野えんね紹介展-日本に住むと日本の暮らし-	

掲載紙	掲載号・掲載日	掲載内容	
新聞関係	2005. 6.30	のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展	
	2005. 7. 7	蚕とまゆ展05関連講座・まゆから糸をとる	
	2005. 7.28	森のコンサート～サマーナイト JAZZ	
	2005. 8.11	ジャズコンサート 白崎彩子ピアノトリオ JAZZ LIVE!	
	2005. 8.14	のんびり涼しくまゆの家 夏体験	
	2005. 8.18	四季を食べる講座「茶飯と簡単漬け物」	
	2005. 8.25	アートな1日講座「陶芸」	
	2005. 9. 1	四季を食べる講座「あんこの作り方とおはぎ」	
	2005. 9. 6	自然観察会「虫の音を聞く会」	
	2005. 9.15	素材への思いー力と可能性ー展	
	2005. 9.29	5周年記念事業「チャレランとそと遊びの一日」[ライオンシャカシヤウーク]「ミュージアムフォーラム」	
	2005. 9.30	素材への思いー力と可能性ー展	
	2005.10. 6	シェークスピア劇「ベニスの商人」	
	2005.10.13	第46回森の朗読会	
	2005.11.12	竹カゴ編み講座	
	2005.11.17	ゴールドデンアート劇場	
		四季を食べる講座「じねんじょ・むかご」	
	2005.11.19	第50回美濃加茂市美術展	
	2005.12. 6	アートな1日講座「高島純とクリスマスオブジェを作ろう」	
	2005.12. 8	定期講座「美術品鑑賞入門」	
	2005.12.15	四季を食べる講座「もちつき」	
		四季を食べる講座「手づくりこんにやく」	
		くらし体験講座「たこづくり」	
	2005.12.20	くらし体験講座「たこづくり」	
	2006. 1. 7	栗田宏一 足もとの土 展	
	2006. 1.11	栗田宏一 足もとの土 展	
	2006. 1.12	第48回 森の朗読会	
	2006. 1.15	栗田宏一 足もとの土 展	
	2003. 1.26	栗田宏一 足もとの土 展/ミュージアムツアー「見すごしていたもの」	
	2006. 2. 4	山手小 総合学習「縄文土器作り」	
	2006. 2. 4	廻国・円空・加茂をとおりて-展	
	2006. 2.14	アートな1日講座「まゆびな」	
	2006. 2.16	第49回 森の朗読会	
	2006. 2.23	廻国・円空・加茂をとおりて-展	
		ミュージアムフォーラム「円空の生涯からみた加茂地域」	
	2006. 2.23	春・朗読の一日	
	2006. 2.26	ひな菓子作り「がんどうち」	
	2006. 3. 3	ミュージアムフォーラム「円空の生涯からみた加茂地域」	
	2006. 3.23	アートな1日講座「陶芸」	
	毎日新聞	2005. 6. 7	佐野えんね紹介展
		2006. 1.23	栗田宏一 足もとの土 展
	朝日新聞	2005. 4.28	土に残る記憶Ⅲ-弥生と古墳-展
		2005. 5.19	土に残る記憶Ⅲ-弥生と古墳-展
		2005. 5.26	土に残る記憶Ⅲ-弥生と古墳-展
		2005. 6. 9	今森光彦「里山物語」展
		2005. 6.11	佐野えんね紹介展-日本に住むと日本の暮らし-
		2005. 6.30	のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展
2005. 7. 7		のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展	
2005. 7. 9		ミュージアムフォーラム「ナツカシイのキオク箱一師勝町「昭和日常博物館」の試みー」	
2005. 7.14		のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展	
2005. 7.21		のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展	
2005. 7.28		のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展	
2005. 8.11		のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展	

	掲載紙	掲載号・掲載日	掲載内容
新聞関係	朝日新聞	2005. 8.25	のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展
		2005. 9. 1	のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展
		2005. 9.29	素材への思いー力と可能性ー展
		2005.10. 6	素材への思いー力と可能性ー展
		2005.10.13	素材への思いー力と可能性ー展
		2005.11.15	加藤道子資料紹介展
		2005.12.15	栗田宏一 足もとの土 展
		2005.12.22	栗田宏一 足もとの土 展
		2006. 1.12	栗田宏一 足もとの土 展
		2006. 1.19	栗田宏一 足もとの土 展
		2006. 1.21	栗田宏一 足もとの土 展 SOIL LIBRARY PROJECT [TOKAI] / 見すごしていたものー化石からワラジまで
		2006. 1.26	栗田宏一 足もとの土 展
		2006. 2.23	廻国・円空-加茂をとおりて-展
		2006. 2.25	ミュージアムフォーラム「円空の生涯からみた加茂地域」
		2006. 3. 9	廻国・円空-加茂をとおりて-展
		2006. 3.16	廻国・円空-加茂をとおりて-展
	北日本新聞	2006. 3. 7	廻国・円空-加茂をとおりて-展
	東海ニュース	2005. 5.18	四季を食べる講座「朴葉餅」
			ミュージアムフォーラム「佐野えんねさんを語る」
			第41回森の朗読会
		2005.10.28	お月見コンサート
			素材への思いー力と可能性ー展
			アートな1日講座「陶芸」 まゆの家まつり
	2005.11.18	第50回美濃加茂市美術展	
		四季を食べる講座「じねんじょ・むかご」	
		アートボランティア企画アートビデオ上映会	
		第9回朗読フェスティバル アートな1日講座「高島純とクリスマスのオブジェをつくろう」	
雑誌関係	びあ 中部版	2005. 5. 9 No.432	土に残る記憶Ⅲ-弥生と古墳-展
		2005. 5.19 No.433	土に残る記憶Ⅲ-弥生と古墳-展
		2005. 6. 2 No.434	土に残る記憶Ⅲ-弥生と古墳-展
		2005. 6.16 No.435	土に残る記憶Ⅲ-弥生と古墳-展
		2005. 9.22 No.442	素材への思いー力と可能性ー展
		2006. 1. 5 No.499	栗田宏一 足もとの土 展
	家庭画報	2005. 8. 1 第四八巻第八号	のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展 夏休み子ども講座「ナイトサファリ」等
	ケイコとマナブ	2005. 4月号 vol.121	四季を食べる講座「じねんじょ・むかご」
			アートな1日講座「陶芸(手びねりまたはろくろ)」
			四季を食べる講座「ぶんだご(草餅)」
		2005. 7月号 vol.124	アートな1日講座「銅版画」
			四季を食べる講座「利休まんじゅう」
		2005. 8月号 vol.125	四季を食べる講座「ミョウガ寿司」
			ミュージアムフォーラム「のこってほしいもの・のこしたいもの～里山」
		2005. 9月号 vol.126	自然観察会「虫の音を聞く会」 四季を食べる会「基本の煮豆」
		2005.10月号 vol.127	くらし体験講座 季節を染める「秋を染める」
		2005.11月号 vol.128	四季を食べる講座「しいたけ料理」
	2005.12月号 vol.129	アートな1日講座「高島純とクリスマスのオブジェをつくろう」	
		アートな1日講座「お菓子でつくるクリスマス」	
	2006. 2月号 vol.131	くらし体験講座 「鏡開き」 アートな1日講座「まゆびな」	

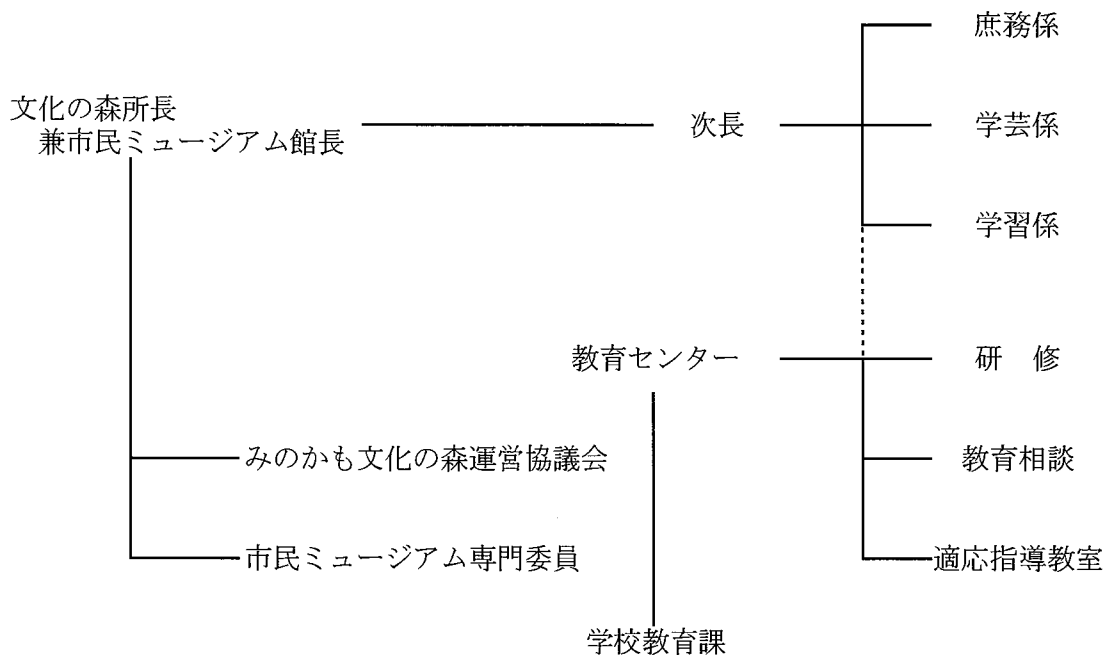
	掲載紙	掲載号・掲載日	掲載内容
雑誌関係	ケイコとマナブ	2006.3月号 vol.132	四季を食べる講座「手作り豆腐」
	月間タウン情報ぎふ TJ GIFU	2005. 6 vol.356	土に残る記憶Ⅲ-弥生と古墳-展
		2005. 8 vol.358	のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展
		2005. 9 vol.359	のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展 素材への思い-力と可能性-展
		2005.10. vol.360	素材への思い-力と可能性-展
		2005.11 vol.361	第50回美濃加茂市美術展
		2005.12 vol.362	第50回美濃加茂市美術展 栗田宏一 足もとの土 展
		2006. 1 vol.363	栗田宏一 足もとの土 展
		2006. 2 vol.364	廻国・円空-加茂をとおりて-展
	2006. 3 vol.365	廻国・円空-加茂をとおりて-展	
自然保護7・8	2005. 7. 8 No.486	のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展	
その他	可茂ホームニュース	2005. 4. 2	自然観察会 春の草花観察
		2005. 4.16	森の朗読会 アートな1日講座「モザイクタイル」 土に残る記憶Ⅲ～弥生と古墳～展
		2005. 5. 7	春・朗読の一日 ミュージアムトーク～土に残る記憶Ⅲ展 ミュージアムフォーラム～土に残る記憶Ⅲ展「古代人のココロを探る」 土に残る記憶Ⅲ～弥生と古墳～展
		2005. 5.21	森の朗読会 つくってみよう「土笛作り講座」
		2005. 6.18	第42回森の朗読会 ビデオ上映会 四季を食べる講座「梅の漬け方と梅料理」 文化の森ボランティア交流会 アートな1日講座「銅版画」
		2005. 7. 2	のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展 ミュージアムフォーラム「のこってほしいもの・のこしたいもの～里山」
		2005. 7.16	第43回森の朗読会 森のコンサート「ジャズ」 ミュージアムフォーラム「ナツカシイのキオク箱-師勝町「昭和日常博物館の試み」-
		2005. 9.17	第45回森の朗読会 素材への思い-力と可能性-展/ミュージアムトーク ワークショップ「土とたわむれる」 アートな1日講座「七宝焼き」
		2005.11.19	第50回美濃加茂市美術展 アートビデオ上映会「ゴールデンアート劇場」 四季を食べる講座「じねんじょ・むかご」
		2005.12. 3	第9回朗読フェスティバル アートな1日講座「高島純とクリスマスのオブジェをつくろう」
		2005.12.17	くらし体験講座「たこづくり」 第47回 森の朗読会 栗田宏一 足もとの土 展 みんなで持ち寄る1000色の土 見過ごしていたもの～化石からワラジまで 四季を食べる講座「もちつき」
		2005. 2. 4	森のコンサート「シャンソン」 廻国・円空-加茂をとおりて-展 四季を食べる講座「ぎんなんおこわ」 暮らしカル道具展06～おこまをつくる道具たち～



	掲載紙	掲載号・掲載日	掲載内容	
その他	中日新聞「chu-ta」	2005. 5 5月号	土に残る記憶Ⅲ～弥生と古墳～展	
		2005. 6 6月号	蚕とまゆ展05	
		2005. 8 8月号	のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展	
		2005. 9 9月号	素材への思いー力と可能性ー展	
		2005.10 10月号	素材への思いー力と可能性ー展	
		2005.11 11月号	美濃加茂市美術展	
		2005.12 12月号	第9回朗読フェスティバル 栗田宏一 足もとの土 展	
		2006. 1 1月号	第48回森の朗読会	
		2006. 2 2月号	廻国・円空-加茂をとおりて-展	
		2005. 6 vol. 67	土に残る記憶Ⅲ～弥生と古墳～展	
		2005. 8 vol. 69	のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展	
		2005. 9 vol. 70	のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展	
		2005. 1 vol. 71	素材への思いー力と可能性ー展	
		2005.11 vol. 73	第47回森の朗読会 栗田宏一 足もとの土 展	
		2006. 2 vol. 75	廻国・円空-加茂をとおりて-展	
		2006. 3 vol. 76	廻国・円空-加茂をとおりて-展	
		かにさんくらぶ	2005. 5 vol.119	春・朗読の一日
			2005. 7 vol.121	のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展
	2005.12 vol.126		第9回朗読フェスティバル 栗田宏一 足もとの土 展	
	2006. 1 vol.127		栗田宏一 アーティストトーク「足もとの土」 ミュージアム・ツアー「見すごしていたもの」	
	2006. 2 vol.128		廻国・円空-加茂をとおりて-展	
	ぴーかん	2005. 6 第4巻第7号	のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦「里山物語」展	
		2005.12 第5巻第1号	第9回朗読フェスティバル	
			アートな1日講座「高島純とクリスマスオブジェをつくろう」	
			歴史講座「中山道太田宿のできごと」	
			第47回森の朗読会	
		2006. 2 第5巻第3号	栗田宏一 足もとの土 展 廻国・円空-加茂をとおりて-展 ミュージアムフォーラム「円空の生涯からみた加茂地域」 ミュージアムイベント「円空ゆかりの地めぐり」 ミュージアムトーク「廻国・円空-加茂をとおりて-展展示会説」	
	どーなっつ	2005. 7. 1 第21号	夏休み子ども講座「カイクのふしぎたんけん」	
			夏休み子ども講座「あかりにへんしん森の木々」	
			夏休み子ども講座「君も科学マジシャンだ！」	
		2005.10. 1 第22号	アートな1日講座「お菓子でつくるクリスマス」 アートな1日講座「高島純とクリスマスのオブジェをつくろう」 くらし体験講座「たこづくり」 四季を食べる講座「もちつき」	
	ラン・タン	2005. 7 第22号	自然観察会「虫の音を聞く会」	
			アートな1日講座「陶芸」	
			四季を食べる講座「あんこの作り方とおはぎ」	
			くらし体験講座「季節を染める(秋を染める)」	
			四季を食べる講座「栗おこわ」	
2005. 1 第23号		アートな1日講座「七宝焼き」		
2005. 1 第23号		アートな1日講座「陶芸」 まゆの家まつり アートな1日講座「お菓子でつくるクリスマス」		

	掲載紙	掲載号・掲載日	掲載内容
その他	ラ・ン・タン	2005. 1 第23号	アートな1日講座「高島純とクリスマスのオブジェをつくらう」
		2005.12 第24号	くらし体験講座「たこづくり」
			四季を食べる講座「もちつき」
			くらし体験講座「鏡開き」
			四季を食べる講座「手作りこんにやく」
			アートな1日講座「まゆびな」
			ひな菓子作り「がんどうち」
	アートな1日講座「陶芸」		
	はじめのいっぽ	2005. 7. 1 第15号	夏休み子ども講座「ナイトサファリ」
			夏休み子ども講座「カイクのふしぎたんけん」
			夏休み子ども講座「あかりにへんしん森の木々」
			夏休み子ども講座「土のふしぎ」
			夏休み子ども講座「手作りとうふ」
			夏休み子ども講座「ぼーっと星空をながめてみよう」
			夏休み子ども講座「君も科学マジシャンだ！」
		2005.10. 1 第16号	アートな1日講座「陶芸」
			アートな1日講座「お菓子で作るクリスマス」
			くらし体験講座「たこづくり」
	2006. 1. 1 第17号	四季を食べる講座「もちつき」	
		くらし体験講座「鏡開き」	
		アートな1日講座「まゆびな」	
	ぼけっと	2005. 4.30 第16号	アートな1日講座 弥生の音色「土笛づくり」
			くらし体験講座 季節を染める「夏を染める」
2005. 7.20 第17号		アートな1日講座「陶芸」	
2005.11. 1 第18号		森のコンサート「シャンソン」	
	四季を食べる講座「手作りこんにやく」		
Gallery	2005.12 vol.248	栗田宏一 足もとの土 展	
この本読んで！	2005.12. 1 通巻第17号	栗田宏一 足もとの土 展	
はっぴーママ	2005.11・12 vol.11	アートな1日講座「お菓子で作るクリスマス」	
	2005. 1. 2 vol.12	アートな1日講座「まゆびな」	
目の眼	2005.10. 1 No.349	素材への思い-力と可能性-展	

## ◆みのかも文化の森の組織図



## ◆利用案内

開館時間 9:00～17:00 (ただし、催事等があるときにはその部分のみ 22:00 まで開館)

休館日 市民ミュージアム 毎週月曜日 (ただし、祝日の場合は開館し、翌日休館)  
第4火曜日、年末年始

教育センター 土・日曜日、祝日、年末年始  
(ただし、教育相談は土・日曜日、祝日も実施)

駐車場 北駐車場 10台 東駐車場 54台 南駐車場 110台

交通 鉄道 JR名古屋駅から美濃太田駅まで特急で40分  
美濃太田駅北口から徒歩17分

自動車 東海環状自動車道美濃加茂ICから約5分

みのかも文化の森 年報

(平成 17 年度)

編集・発行 みのかも文化の森

2006 年 9 月 30 日

〒505-0004

岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1

電話 0574-28-1110

FAX 0574-28-1104

<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>

印刷 サンメッセ株式会社